

第 51 回通常総代会

開催日時 2022年6月18日(土) 10時00分開会

開催場所 葛飾区 金町地区センター 5階ホール

東京都葛飾区東金町 1-22-1



東京葛飾医療生活協同組合

東京都葛飾区白鳥 2-3-6

☎03 - 5680 - 7166

第 51 回通常総代会 議案書

も く じ

第 1 号議案	2021 年度事業報告、決算報告・損失処理案決定の件	
I	2021 年度事業報告	1
II	2021 年度決算報告・損失処理案	
1.	事業報告書	12
2.	事業報告書の附属明細書	22
3.	決算関係書類（損益、貸借、キャッシュフロー、注記）	24
4.	決算関係書類の附属明細書	30
5.	損失処理案	38
監査報告書		39
参考 過去 3 年損益計算書推移		40
過去 3 年キャッシュフロー計算書推移		41
第 2 号議案	2022 年度事業計画、予算決定の件	
I	2022 年度事業計画	42
II	2022 年度予算案	49
第 3 号議案	中長期構想（案）の件	52
第 4 号議案	役員選任の件	64
第 5 号議案	議案決議効力発生の件	65
報告事項	班会開催状況、組合員地域分布、第 51 期総代名簿	66

〔別冊〕各支部のまとめと方針

I 2021 年度事業報告

新型コロナウイルス感染症がパンデミックを起こしてから早 2 年が経ちましたが、未だ収束には至っていません。マスク着用が当たり前となり、様々なイベントも中止になるなど、私たちの生活は一変し様々な困難に直面しましたが、多くの方々の奮闘によって 2021 年度も乗り切ることができました。また、東京葛飾医療生活協同組合は 2022 年 2 月 18 日に創立 50 年の節目を迎えることができました。当組合を支えてくださった全ての皆様に、心より感謝申し上げます。

I-1 医療生協活動の総括

2021 年度の医療生協活動は、「小さな一步の積み重ねが大きな前進につながる」を合言葉に実践する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの医療生協活動が中止となりました。

(1) 医療生協活動の再開と課題

新型コロナウイルスの感染がやっと抑制されてくると、また次の波が来るということが繰り返され、度重なるまん延防止等重点措置により、今年度も医療生協活動に大きな影響がありました。セルフチェック票を導入し感染拡大予防に努めながら活動を再開するとしましたが、感染の不安が先行し、必要以上に警戒するあまり、実施可能と思われる活動も中止となってしまいました。そのような中でも各支部が知恵を出し合い、感染予防対策を行いながら、強化月間での「新型コロナウイルス感染症についての DVD 学習」をはじめ、組合員訪問、映画会、折り紙教室、健診業務のお手伝い、「健康のはぐるま」発送作業など、工夫して実施しました。「支部内の組合員さんへ暑中見舞いのハガキを送る」特徴のある活動を行った支部もありました。これらも新型コロナウイルスの感染状況を見ながら、活動に取り組んでいきます。

□各支部の行事

ブロック・支部	日 時	場 所	参加者数
白鳥支部	2022 年 8 月 28 日	白鳥センター1階	10 名
上記以外の主なイベントは全て中止			

(2) 医療生協を強化する仲間増やし・班会・機関紙「はぐるま」の活動

□2021年度の組合員・出資金の推移

組合員数 (人)	
期首組合員数	7,272
新規加入	148
脱 退	▲212
みなし脱退	▲137
純増減	▲201
期末組合員数	7,071

出資金額 (千円)	
期首出資金	163,711
増資 (新規含む)	6,876
減資 (脱退含む)	▲7,656
みなし脱退	▲1,324
合 計	▲2,104
期末出資金	161,607

仲間増やしでは、年間目標 400 名に対し 148 名の到達 (37.0%)、出資金目標 10,000 口に対し 6,876 口の到達 (68.8%) となりました。新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、各支部で奮闘していただきました。支部を担う組合員さんの高齢化や組合員数の減少などの課題もありますので、引き続き取り組みの拡大・強化が求められます。

今年度も「出資金の現在高通知」を送付して、死亡組合員のご家族に「医療生協の世代継承」を勧めました。

機関紙「健康のはぐるま」を年間 6 回発行しました。発送作業を短時間でを行うため紙面数を縮小しての発行など、感染予防に努めました。今年度も手配りや原稿作成に、たくさんの方の組合員のみなさんにご協力いただきました。感謝申し上げます。今後も葛生協の活動内容をお届けできるようにしていきます。

発行号・発行日	主な内容
第 243 号・2021.05.01	「コロナに負けない！生活支援・相談プロジェクト」報告、第 50 回通常総代会のお知らせ、他
第 244 号・2021.07.15	第 50 回通常総代会報告、葛飾区健康診断・新型コロナワクチンのお知らせ、他
第 245 号・2021.09.01	平和の波行動報告、原水禁禁止世界大会報告、他
第 246 号・2021.11.01	強化月間方針、下千葉東支部「折り紙教室」紹介、他
第 247 号・2022.01.15	理事長・各支部長からの新年のご挨拶、他
第 248 号・2022.03.01	国民健康保険料値上げ反対、医療費魔道具地負担 2 倍化反対、健康チャレンジ報告、他

○「健康のはぐるま」手配り協力者数 8 支部 合計 260 名

是非ともご自宅周辺の「健康のはぐるま」の手配りにご協力ください。

(3) 中長期事業構想の策定

第 42 回と第 44 回の通常総代会で承認された中長期事業構想は、赤字解消を前提とした計画だったため、現在計画が凍結されている状況です。医療や社会の情勢を踏まえ、法人の羅針盤となる新しい中長期事業構想を策定します。引き続き「経営体力」を強化しつつ、組合員や地域のニーズを踏まえて形にしていきますので、皆さんのご意見をお寄せください。

(4) 各委員会のまとめ

○組織活動

この一年、葛生協としての活動は、長引く新型コロナの影響を受け、困難な状況の中での取り組みとなりました。

葛生協は 10,000 人の組織目標を掲げるなかで、2022 年 2 月の創立 50 年の節目を増勢で迎えようと、仲間増やしで 400 名の拡大目標に向けて、各支部で努力してきました。しかし、全体では 148 名の加入拡大に止まり、脱退（みなし自由脱退含む）も 349 名あり、結果的に前年度末より▲201 名減の 7,071 名という到達となりました。

各支部は困難な中でも、各種班会の開催のほか、新組合員を含む訪問行動、ボランティアを組織しクリーン作戦を実施、土建健診への応援、ニュースの継続発刊で繋がり重視、地域要求実現に向けた共同の取組み等々を行ってきました。「継続を力に」引き続き「つながり」を大切に、今後の活動に繋げ、支部目標前進に向けた努力が求められます。

金町南支部では、運営委員が協力し、繋がりや困り事のある人へ手を差し伸べ、葛生協のネットワークや助け合い活動の取組み等、対話を通して理解を助け、毎月一人以上の拡大継続は 10 年目を迎えています。

高齢化社会の進むなかで、葛生協組織の 5 年・10 年先の見通しとして、仲間増やしをせずに推移した場合、東京都生協連医療部会の調査では、組合員数・出資総額ともに半減すると分析されています。助け合いのネットワークを守り発展させるためにも、分析結果を受け止め、組合員のご家族や、組織の外側にいる人たちとの繋がりを強め、仲間増やしにこだわりをもって取組みを強める必要があります。

コロナ禍の下では、特に地域における「助け合い」活動が求められます。これまでの取組みを継続しながらも、柔軟な発想のもとに、ボランティア活動や「親子でふれあうイベント」などの開催に向けて検討する必要があります。計画を実施に移す際には、関係する組織に協力を求めることや、地域の町会や商店街等との共同の取組みも視野に検討する必要があります。

○健康づくり活動

2 年以上にわたるコロナ禍の生活。感染が身近にせまり、本人、家族、とりわけ子供たちにも拡大し大きな不安を与えています。習慣化されたマスク着用も息苦しさに繋がり外出を制限し「こころとからだ」に変調をきたしているとの報告もあります。引き続きの自粛で、班会ははじめ組合員の交流の場が長期間にわたって失われています。そん

な中でも組合員の不安に寄り添う訪問や声かけ、班会等が少しずつ前に進んできたかと思えます。

この一年間で実施できた活動をふりかえってみました。

- ①班会での健康講話は青戸団地班、下千葉お楽しみ会は定期開催。青戸さくら・亀一つくし合同班から年末に要請を受け 1 回のみ開催。川柳の音読、転倒防止、認知症の話、コロナ禍での健康づくりなどで集いました。一人ひとりの近況報告もあり話が弾み笑顔がこぼれます。休会中の班会も環境を整備し開催できたらと思えます。
- ②毎年 10 月から 12 月に実施している健康チャレンジの取り組みは 7 年目になりました。今年度も独自のチャレンジシートを使い「健康のはぐるま」に参加を呼びかけました。参加目標の 120 名には届きませんでした。56 名のエントリー、修了者は 34 名に留まりました。健康づくり委員会が開催できず、宣伝・回収方法などの意思統一ができなかった事に要因があると思われ。毎年参加されている方は「継続は力なり」を合言葉に、足が痛くてもリハビリを兼ねてウォーキング。多忙な中でも職員の「神田・浅草 2 万歩」や組合員さんのご家族から「お酢を使って減塩料理」。「きっちり歯磨き、健診でほめられました〜!」との感想が寄せられました。
- ③健康長寿の取り組みとして購入した卓上ゲーム「カーレット」や「ポッチャ」、血管年齢の測定などの目標は自粛に伴い実施できませんでした。楽しめる取り組みで組合員加入に繋がれたらと思えます。

○社保・平和活動

新型コロナウイルス感染症が広がる中で、この一年間は社保委員会が開けない月もありましたが、社保活動・9 条 No! 推進ニュースを発行してみんなに伝え、頑張っ

①改憲発議許すな「憲法 9 条守れ」の取り組み

憲法改悪反対共同センター、9 条の会・地域合同の金町・亀有で行う毎月定例の宣伝行動も、コロナの影響でできない月もありましたが、8 回参加してきました。新しく提起された「発議許すな」の署名に積極的に取り組みました。

3000 万署名 1,843 筆 + 新署名 427 筆

核兵器禁止条約批准 67 筆

②コロナに負けない!いのちと生活を守る活動

新型コロナウイルス感染症が広がる中で結成された「区民のいのちと生活を守る」連絡会に協力して活動に参加して来ました。

第 2 回 5 月・第 3 回 8 月・第 4 回 11 月にコロナに負けない「生活支援・相談プロジェクト」が開催され、困難を抱えた方々が多数来場されました。生協では積極的に協力・参加して、準備から片付けまで大きな貢献をしました。第 5 回が 2022 年 4 月 23 日に実施されています。

③核兵器廃絶を、平和活動・平和ツアーの取組み

各支部の平和のつどいはコロナ感染の中で開けませんでしたが、展示コーナーの開催や平和特集号の発行など工夫した取組みが行われ、地域から平和への思いを広めました。原水禁世界大会はオンラインで開催され、葛生協からは代表 3 名が葛飾会場へ参加しました。平和行進や 8 月に行われた「平和の波行動(8月6日・9日)」に参加して来ました。

④高齢者運動の取組み

後期高齢者医療費窓口負担 2 割化がすすめられ、コロナ禍で高齢者のいのちと暮らしが脅かされる中での実施に、反対署名運動や厚労省前での座り込みに積極的に取り組みました。

「日本高齢者大会 IN 松本」が 9 月 23 日に行われ、葛飾ではオンライン会場（勤労福祉会館）に 14 名の参加（生協から 4 名）で成功しました。

○地域助け合い活動

スワンの活動とふきのとう在宅介護家族の会について予定を立てていましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で延期となりました。


○環境を守る活動

葛飾青空の会や友誼団体と連携して環境問題に取り組みました。大気汚染被害者への医療費助成制度創設を目指す公害調停は不調に終わり、裁判に準じる責任裁定への取組みが開始されています。国、自動車メーカーは大気汚染は改善していると主張していますが、1970 年代から 2010 年ころにディーゼル排気ガスを大量にまき散らし喘息などを発症させた責任は消えるものではありません。公害、社会保障、憲法などの署名にすべての事業所が取組み、他団体の分を含めて 230 櫃の署名数が集約されました。10 年以上前から自転車ネットワークづくりを葛飾区に呼びかけ通算 7 回の交渉を重ねて成案に到達することができました。大きな前進と言えます。身近な環境問題を考える機会として、水元清掃工場の見学を企画しましたが、コロナ禍で実現しませんでした。NO₂測定に取り組みました。

I-2 事業活動の特徴

法人全体で 1,300 万円の経常剰余目標を立て、診療所群では「赤字を生むことは、法人の資産を食い潰しているという認識に立ち、黒字化・再編成を行う」、介護事業所群では「継続的に黒字を計上するとともに、今後の事業所体制・展開の検討を行う」をテーマに実践してきました。以下、主な実績・取組みをご紹介します。

(1) 法人トピックス

- 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、引き続き ZOOM を併用した理事会運営を行いました。
 - 2020 年に行われた東京都生協検査の文書指導に対する改善状況の提出を行いました。
 - 篠原診療所と隣接する住宅との土地境界について確認を行いました。
 - 居宅介護支援事業所「ほりきり」が、8 月 3 日に葛飾区の介護サービス事業者等の実施調査を受けました。
 - ほりきり訪問看護ステーションとかなまち訪問看護ステーションで、「東京都自宅療養者等への訪問看護業務委託」を受託しました。
 - 国からの新型コロナワクチンの供給量に制限がありましたが、組合員の方に出来る限り接種していただけるよう診療所で接種業務を進めました。
 - 診療所の構造上、通常の診察と感染者および感染の恐れのある方の診察について、導線を分けることが出来ない中で、範囲を絞った形ではありましたが、PCR 検査を行ってきました。
 - 2021 年 4 月 1 日付けで職員への定期昇給を実施しました。
 - 一時金は年間 2.6 か月を支給しました。
(7/10 夏季一時金 1.3 か月、12/10 年末一時金 1.3 か月)
 - 就業規則の給与体系表（准看護師の基本給アップ等）の変更を行いました。
 - 介護職員の処遇改善における支援補助金および臨時特例交付金の制度を活用し、介護職員処遇改善手当を新設しました。
 - 今年度もほりきり訪問看護ステーションで、看護学生の実習を受け入れました。
 - 今後の資金繰り対策のため、2022 年 4 月より協立医師協同組合の金融互助会積立を開始しました。(36 か月、100 万円/月)
 - 法人のホームページをリニューアルしました。
<https://www.katsuseikyoo.or.jp>
- 
- 本部車へドライブレコーダーの設置、本部用電動アシスト自転車の購入を行いました。
 - 白鳥ビルの賃貸借契約の更新および 1 階エアコンの入れ替えを行いました。
 - 監事会の年間スケジュールに沿って、以下の監査を実施しました。
法人監査 年 2 回 (2021 年 10 月 20 日上半期監査、2022 年 5 月 18 日決算監査)
事業所監査 2021 年 11 月 17 日 金町診療所
2022 年 1 月 19 日 下千葉診療所
2022 年 3 月 16 日 居宅介護支援事業所「ほりきり」
 - 新入職員
かなまち訪問看護ステーション 2021 年 4 月 16 日 常勤 中島美香 (看護師)
篠原診療所 2022 年 4 月 1 日 常勤 清水基規 (医師)

○退職職員

かなまち訪問看護ステーション 2021年10月31日 非常勤 今村雪絵（看護師）

ほりきり訪問看護ステーション 2022年2月28日 非常勤 佐藤由紀子（事務）

居宅介護支援事業所「ほりきり」

2022年3月31日 非常勤 萩原佐知子（ケアマネ）

○原水禁大会（広島：Zoom参加）に3名の代表を派遣しました。

○「コロナに負けない！生活支援・相談プロジェクト」に参加しました。

○ロシアのウクライナへの軍事侵攻に反対する特別決議を理事会で採択しました。

○社会保険労務士の見付季代子先生に、職員対象の学習会（「労働時間・休日・年次有給休暇」をテーマ）を行っていただきました。

○東京都生協連で実施した「医療生協の出資金自己点検」に参加し、今後の出資金の推移を把握するとともに、検討課題を共有しました。

○東京都生協連を通じて、コープみらいより、新型コロナウイルス感染症に対応する医療生協に対する寄付金20万円をいただきました。

（2）医療活動トピックス

○診療所群は、新型コロナワクチン接種により保健予防収益が大幅に増加した関係で、篠原診療所で582万円、金町診療所で568万円、前年と比べ事業収益が増加しました。新型コロナウイルス感染症が拡大する中で、役職員が奮闘した結果と受けてめています。しかし、内容を見てみると、篠原診療所は外来・在宅とも前年を上回る事業収益収益を上げていますが、金町診療所では在宅収益を上げたものの外来収益が下回り、下千葉診療所では、外来・在宅収益とも前年度を下回っており、依然として厳しい状況が続いています。

そのような状況の中、金町診療所では鈴木瑞史所長を中心に在宅医療に力を入れ、70人ほどの在宅管理件数となり、黒字を計上したことは大きな成果と言えます。

一方で、診療所の構造上の問題と感染拡大予防の観点から、発熱外来を実施するまでに至らなかったこと、国から十分な新型コロナワクチンの供給がなく、一部の組合員にしかワクチン接種ができなかったことは、反省点として謙虚に受け止め、今後の中長期構想にも活かしていきたいと考えています。

○診療所では、2021年度に以下の購入・導入を行いました。

□下千葉診療所

1階および3階の事務室エアコン買い替え

送迎車・往診車 ドライブレコーダー設置

□篠原診療所

オーディオメーターの買い替え

往診車 ドライブレコーダー設置

□金町診療所

階段・2階の避難誘導灯更新

電子カルテの故障 PC の買い替え（リース）

送迎車・往診車 ドライブレコーダー設置

(3) 介護活動トピックス

○介護事業所群は、3事業所（ほりきり訪問看護ステーション、かなまち訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所「ほりきり」）で黒字計上、1事業所（ヘルパーステーション虹の輪）が赤字計上となりました。

○ほりきり訪問看護ステーションとかなまち訪問看護ステーションの2訪問看護ステーションは、合計で1,112万円の黒字を生み出し、法人経営を牽引する役割を担っています。また、職員が積極的に議論を行い、新型コロナウイルス感染症陽性者の自宅療養に対し、「東京都自宅療養者等への訪問看護業務委託」の受託を決め、医療生協の訪問看護ステーションとして地域の方々に貢献することができました。

○居宅介護支援事業所「ほりきり」も、特定事業所加算Ⅰを算定し、質の高い介護を提供することを心掛け、職員の積極的な奮闘によって720万円の黒字を生み出しています。今後も安定した経営を継続していくため、いろいろな検討・改善を行っていきます。

○ヘルパーステーション虹の輪は、2021年4月1日より新所長体制のもと、質の高い介護を提供しつつ、業務改善に取り組んできました。しかし、昨年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で利用者さんの利用控えなどがあり、結果として訪問時間・事業収益の減少を食い止めるまでには至らず、▲686万円の赤字となりました。新規ヘルパーの確保が難しく、新しい利用者を受け入れることが難しい状況ではありますが、まずは介護の質を上げ加算を取得することで収益増を目指します。

○介護事業所では、2021年度に以下の購入・導入を行いました。

□介護事業所 PC・介護ソフトのリース契約（4事業所共有）

□ほりきり訪問看護ステーション

電動アシスト自転車の購入

□かなまち訪問看護ステーション

電動アシスト自転車の購入

洗濯機の購入

(4) 各事業所の総括

○下千葉診療所

引き続き外来の患者減と在宅管理数の目標未達にて、大きく収益が落ち込み予算未達の大きな原因となりました。地域の事業所との信頼関係を深める事の必要性を感じています。

新型コロナに関わる業務では所長をはじめ全職員が状況の変化にも柔軟に対応するなど奮闘しました。方針にあげていた発熱患者対応に必要な設備や準備をすすめることが出来ました。その結果、前年度は断ってしまっていた地域の患者さんの対応を行うことができ、特に第6波では多くのPCR検査希望患者を受け入れました。その分、毎回感染予防をしておの検査、受診者へのフォロー、陽性者対応にと、業務に追われ所長や職員への負担は大きなものになりました。新型コロナウイルスワクチン接種については、初期は想定が甘かったため対応が不十分となりましたが、体制を整え、その後希望する多くの方に接種ができ、協力金も含め収益増へと繋がりました。今後もワクチン接種では、一層気を引き締めながら、地域の要望に応えられるようにします。

土建日曜健診は前年度に続き2回実施しました。運営委員さんに毎回お手伝いをしていただき欠かせない戦力となっています。土建健診数目標達成とコロナワクチン収益で保健予防活動収益も予算超過となりました。組織活動としては、行事や集まりを計画しては二の足を踏むを繰り返してしまいました。組合員さんとのつながりを絶やさないために“しもちばギャラリー”は継続していますが、活用できているとは言い難いです。今後の大きな課題です。

○篠原診療所

新型コロナ感染予防の対策を徹底し、外来・訪問診療を継続してこられたことは評価に値します。しかし、受診抑制による長期処方や検査のキャンセル・延期など、受診者数の減少に伴う収入減少は明確でした。ただ、皮肉なことに新型コロナワクチン接種による想定外の収入に助けられたことも事実です。健診件数も外来件数同様思うようには増やせず、収入の予算差異が目立ちました。新しい文化となるWebを用いたリモート研修や会議は、時短になり便利ではありますが、不慣れなこともあり論じる難しさも感じました。まだまだ続くコロナとの共存、経営を守り地域の健康をまもるために、私たちは前進するための力と知恵を結集することが必要です。

○金町診療所

新型コロナウイルス感染症は拡大を続け、重症例は無いものの患者様や当診関係者でも罹患・感染疑いが複数発生しました。その中でも診療所にクラスターや一時閉鎖を発生させなかったのは、発熱・感冒対応の中止を含む感染予防対応と組合員の皆様・患者様の協力の成果と考えます。

経営面では大きな前進があり、現所長体制になって初の年間黒字を達成しました。外

来は減少の底が未だ見えませんが、在宅医療分野では鈴木所長と担当職員を中心に大奮闘し、過去最高の管理数・収益を達成しました。また、手探り状態ながら新型コロナワクチン・PCR 検査にも懸命に取り組み、保健予防収益が予算を大きく超過達成したことは最大の要因です。健診は医療機関回避ムードで厳しい一年でしたが、前年比微減にとどめました。

組織活動は、前年同様ほとんどの活動が中止・延期せざるを得ないつらい状況が続きつつも、新型コロナ災害下でもできるスタンディングやフードバンク等の取り組みに参加しました。また、『はぐるま』封入作業の時間短縮のため、できる限り職員も参加しました。

診療所の施設を使った金町ブロックの支部との取り組みや毎年恒例の大規模集会は本年度も開催できませんでした。コロナ対応の長期化を見据え、今の状況下でもできることを考えていきます。

○ほりきり訪問看護ステーション

新型コロナウイルスの感染予防対策を実施しながら、継続して看護ケアを実践しました。また、感染症対策に関する研修を重ね、東京都の新型コロナウイルス感染症陽性者の自宅療養に対する委託事業を受け、10 件以上の陽性者訪問を実施しました。

介護報酬改定により加算の減額・リハビリの訪問単価減額等により収入減となりましたが、予算を上回り、年間で約 800 万円を超える経常剰余を出すことができました。看護師・リハビリのスタッフは安定した体制を維持できました。非常勤事務職員が 2022 年 2 月末で退職となり、事務員の仕事を看護師が分担することとなりました。

当ステーションは活気に溢れ、個々のスタッフは ZOOM 研修にも積極的に参加し、看護の質を向上していく努力をしています。日常的にコスト意識を高く持ち、残業を減らす努力もしています。2021 年 4 月に電子カルテ (iPad) を導入し、ペーパーレス化と書類作成時の効率が向上しています。

医療生協活動は、コロナ渦で活動を自粛した影響もあり、参加はできませんでした。スタッフ全員で月掛け増資に取り組んでいます。

○かなまち訪問看護ステーション

4 月に 1 名の常勤スタッフを迎え 4 名の常勤スタッフと 1 名の非常勤看護師でスタートしました。途中非常勤スタッフが退職し 4 名となりましたが、昨年に続きコロナ対応を行いながらの訪問を実施してきました。ST の利用者でコロナ陽性になった方は 3 月に 2 名いましたが、すぐに入院することができ、スタッフには陽性者が出ることなく、年度末を迎えることが出来ました。

利用者の減少があり、関係ケアマネや関係病院に依頼 FAX を流したりしましたが、今までのように増やすことができず予算達成はできませんでした。

○ヘルパーステーション虹の輪

今期、最初に取り組んだのが援助内容の見直しでした。今まで生活援助で入っていた

利用者に対し、ヘルパーやケアマネと相談しながら、必要性がある方に身体・生活の援助内容の見直しを行うことで、より良い介護を実現しながら収益改善にもつなげていこうと奮闘しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、前期と同様に、通所を控え援助も長期でお休みされたり、新規の依頼もターミナルが多く 1 週間で援助が終わってしまったり、思いもよらない方々が入所やお亡くなりになったりと、予定していた訪問件数・訪問時間を確保できず赤字となってしまいました。新型コロナに対する感染予防対策においては、全員で取り組み、感染しない・させないよう努めました。

○居宅介護支援事業所「ほりきり」

特定事業所加算 I を継続して取得することができ、当期経常利益は 720 万円で着地し、昨年度より 104 万円の増収となりました。ケアマネが皆頑張ってくれた結果、1 人当たり月平均 8.7 万円の利益を出せました。ケアマネ 7 名中、主任介護支援専門員は 4 → 3 名体制で、困難な依頼や状態の重い方の相談も受けてきました。組合員や同法人の診療所、包括支援センターや同業の支援事業所からもコンスタントに新規依頼を頂きましたが、スタッフが 1 名退職することになり、後半は、致し方なく何件かの受け入れを辞退させていただきました。

2021 年度は介護ソフトウェアの入れ替えで当初 2~3 か月は入力作業に時間が掛かりましたが、その後は実績入力等でステーションやヘルパーステーション虹の輪との連携が取れ、作業効率が良くなりました。

コロナの影響があり、様々な機関で研修や会議は ZOOM を用いたオンライン方式が当然の事となり、スタッフはリモート参加に慣れてきました。昨年よりもオンライン研修がかなり増えていきますので、選んで参加出来るようになりました。所内では毎朝のミーティング、週 1 回所内会議、月 1 回主任ケアマネ会議の時間を設け、連絡、報告、勉強会、ルール作りなど、定期的かつ必要に応じ行っています。主任ケアマネージャーとしては実習生の受け入れを行い、これからケアマネージャーになっていく方の実地研修を行わせていただきました。

なかなか地域ケア会議等、社会的な活動の場がありませんでしたが、昨年につき、かつしか主任介護支援専門員連絡会の堀切地区代表として、地区の主任介護支援専門員のレベル向上や地域課題などのために活動しました。

葛生協内活動では募金や署名運動に協力しました。また、はぐるまの手配りを毎月お手伝いしたり、増資のお声がけをし、組合員やご家族にもご協力いただきました。仲間増やしでは目標 15 名のところ 11 名の新規加入があり、目標まではもう 1 歩でした。

II 2021年度決算報告・損失処理案

II-1 事業報告書

1. 組合の事業活動の概況に関する事項

(1) 事業年度の末日における重要な事業活動の内容

事業種目	主な事業品目等
医療事業	保険診療（外来・在宅）、保健・健診活動、訪問看護
介護事業	訪問看護、訪問介護、居宅介護支援

(2) 事業の経過及びその成果並びに対処すべき重要な課題

1) 事業の経過及びその成果

□経常剰余金

経常剰余金 813 万円の黒字を計上

経常剰余金

(単位：千円)

事業所名	2021 年度			2020 年度	
	当期実績	予算	予算差	前期実績	増減額
下千葉診療所	▲5,783	0	▲5,783	▲11,205	5,422
篠原診療所	▲3,790	1,209	▲5,000	▲9,495	5,705
金町診療所	2,239	428	1,810	▲5,745	7,984
ほりきり訪問看護ステーション	8,359	6,652	1,706	11,456	▲3,097
かなまち訪問看護ステーション	2,763	5,060	▲2,296	7,190	▲4,427
ヘルパーステーション虹の輪	▲6,867	0	▲6,867	▲5,895	▲971
居宅介護支援事業所「ほりきり」	7,200	1,985	5,214	6,152	1,047
本部事務局	4,015	105	3,910	5,696	▲1,681
法人合計	8,136	15,441	▲7,305	▲1,845	9,982

なお、年度末の法定脱退及びみなし自由脱退処理で 1,324,000 円を特別利益に計上しました。

税引前当期剰余金 1,029 万円から法人税等 344 万円の支払いが発生し、当期剰余金は 685 万円の黒字計上となりました。

□事業収益

事業収益

(単位：千円)

事業所名	2021 年度			2020 年度	
	当期実績	予算	予算差	前期実績	増減額
下千葉診療所	118,684	126,478	▲7,794	120,308	▲1,624
篠原診療所	97,126	104,267	▲7,141	91,298	5,828
金町診療所	142,264	138,340	3,923	136,582	5,682
ほりきり訪問看護ステーション	57,705	57,488	217	59,538	▲1,833
かなまち訪問看護ステーション	44,183	49,376	▲5,192	45,599	▲1,416
ヘルパステーション虹の輪	37,585	43,075	▲5,489	38,489	▲903
居宅介護支援事業所「ほりきり」	52,126	48,826	3,299	50,554	1,571
法人合計	549,674	567,852	▲18,177	542,372	7,302

事業収益は 5 億 4,967 万円で、▲1,817 万円の予算未達でしたが、前年比 101.3%で、730 万円の増加となりました。

[内訳]

〈診療所事業〉

診療所群の事業収益は 3 億 5,807 万円で、▲1,101 万円の予算未達でしたが、前年比 102.8%で、988 万円の増加となりました。増加の要因は、新型コロナウイルスのワクチン接種により保健予防収益を大きく伸ばしたことです。その反面、外来収益は前年から▲413 万円の減少となっており、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響から回復していない状況が浮き彫りになりました。そのような中でも金町診療所では、在宅の強化などによつての経常剰余が 223 万円の黒字計上となりました。

2022 年度はワクチン収益が見通せない状況ですので、それ以外の収益で増収が確保できるように、職員一人ひとりの奮闘が求められます。

患者統計

(単位：件・%)

事業所名 年度・前年比%	下千葉診療所			篠原診療所			金町診療所		
	2021	2020	前年比	2021	2020	前年比	2021	2020	前年比
外来患者件数	6,843	7,014	97.6	8,163	8,288	98.5	8,164	8,368	97.6
外来延べ患者件数	9,521	9,947	95.7	9,853	9,900	99.5	10,397	10,762	96.6
管理在宅患者件数 (累計：内数)	595	635	93.7	220	213	103.3	792	778	101.8
1 日平均患者件数	33	34	97.1	34	34	100.0	36	37	97.3

〈介護事業〉

介護事業所群の事業収益は1億9,159万円で、▲716万円の予算未達、前年比98.7%、▲258万円の減少となりました。

ほりきり訪問看護ステーション、かなまち訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所「ほりきり」の3事業所は安定して黒字を計上しています。また、ヘルパーステーション虹の輪は▲686万円の赤字計上となりましたが、管理者を中心に業務改善を行いながら、黒字計上を目標に奮闘しています。今後の利用者獲得や加算取得が鍵となります。

〔実績内容〕

○ほりきり訪問看護ステーション、かなまち訪問看護ステーション

訪問件数 1,622件（前年比97.1%） 訪問回数 10,793件（前年比100.0%）

○ヘルパーステーション虹の輪

訪問件数 2,030件（前年比92.0%） 訪問時間数 9,369時間（前年比98.6%）

○居宅介護支援事業所「ほりきり」

ケアプラン作成数 3,211件（前年比100.7%）

□事業費用

事業費用

（単位：千円）

科目名	2021年度			2020年度	
	当期実績	予算	予算差	前期実績	増減額
人件費	407,176	415,922	▲8,746	414,071	▲6,895
材料費	20,881	20,110	771	23,256	▲2,374
委託費	27,668	27,194	474	26,936	731
経費	69,834	70,457	▲623	68,528	1,306
リース料	14,649	15,223	▲573	13,878	771
減価償却費	3,048	2,112	936	2,249	798
法人合計	543,258	551,019	▲7,760	548,920	▲5,662

事業費用は5億4,325万円で、▲776万円の予算内執行、前年比99.0%で、566万円の減少となりました。

〔内訳〕

人件費が4億717万円、▲874万円の予算内執行、前年比98.3%、▲689万円の減少でした。4月に定期昇給を行い、一時金（夏期・年末）は年間2.6か月を支給しました。

事業費用の構成比は、人件費率74.1%、材料費率3.8%、委託費率5.0%、経費率12.7%、リース料率2.7%、減価償却費率0.6%となりました。

□資金等財務状態

資産の部は4億3,077万円です。

流動資産は2億4,039万円で期首から1,411万円の減少、固定資産は1億9,037万円で期首から6,046万円の減少、現金及び預金は1億4,028万円で月商倍率は3.06ヶ月分を確保しています。

負債の部は3億3,295万円です。

医療福祉機構からの新型コロナウイルス感染症に対応する特別融資1億円を含め、長期借入金は1億4,305万円となりました。

純資産の部は9,782万円です。

出資金は2016年度から始めた出資金現在高通知による脱退処理（死亡や資格喪失）を引き続き進めていることもあり、期首から210万円減少し、1億6,160万円となりました。

当期剰余金は685万円の黒字となり、累積赤字は▲6,378万円に減少しました。2011年3月決算時点の▲2億6,800万円の累積赤字は76.2%減少したことになります。

2) 対処すべき重要な課題

診療所は、組合員や地域から求められている医療ニーズに対応することが求められます。中長期構想の策定・遂行を含め、大胆な診療体制の見直しなどを行い、黒字を確保することが最重要課題です。

介護事業所は、引き続き看護師、ケアマネージャー、介護福祉士、ヘルパー等の職員確保による体制強化を行い、利用者増や加算取得を目指します。

①直前4事業年度の財産及び損益の状況 (資料)

	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
組合員数	7,071人	7,272人	7,384人	7,992人
出資金	161,607千円	163,711千円	170,062千円	181,721千円
事業収益	549,674千円	542,372千円	565,681千円	572,247千円
(医療事業収益)	379,969千円	374,885千円	389,834千円	397,186千円
(介護事業収益)	169,705千円	167,486千円	175,847千円	175,061千円
経常剰余金	8,136千円	▲1,845千円	501千円	10,745千円
総資産合計	430,777千円	505,352千円	455,841千円	454,826千円
自己資本	97,823千円	93,074千円	115,027千円	121,990千円

②事業の状況表

(i) 部門別収入の状況

(単位：千円)

	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
診療所（保険診療）	280,077	284,147	300,902	308,459
診療所（健診事業）	69,258	55,374	52,773	53,130
訪問看護	101,888	105,138	105,593	108,732
訪問介護	37,585	38,489	47,051	44,163
居宅介護支援	52,126	50,554	48,965	47,787

(ii) 医療事業収益・介護事業収益の事業所別内訳

(単位：千円)

事業所名	事業収益		
	医療	介護	合計
下千葉診療所	115,936	2,748	118,684
篠原診療所	96,044	1,082	97,126
金町診療所	138,218	4,045	142,264
ほりきり訪問看護ステーション	15,819	41,885	57,705
かなまち訪問看護ステーション	13,951	30,231	44,183
ヘルパステーション虹の輪		37,585	37,585
居宅介護支援事業所「ほりきり」		52,126	52,126

③福祉事業の状況

(i) 福祉事業収入の状況

(単位：千円)

	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
介護保険事業	169,705	167,486	175,847	175,061
その他の事業	0	0	0	0
合計	169,705	167,486	175,847	175,061

(ii) 福祉事業状況表

利用者・利用高 年度・前年比%		利用者数（件・%）			利用高（千円・%）		
		2021	2020	前年比	2021	2020	前年比
介護保険	訪問看護	1,622	1,671	97.1	72,117	70,515	102.3
	訪問介護	2,030	2,207	92.0	37,585	38,489	97.7
	居宅支援	3,211	3,189	100.7	52,126	50,554	103.1
合計		6,863	7,067	97.1	161,828	159,548	101.4

(3) 増資及び資金の借入その他の資金調達状況

資金繰り対策として 2022 年 4 月より協立医師協同組合の金融互助会積立（36 ヶ月、100 万円/月）を開始しました。

(4) 組合が所有する施設の建設または改修その他の設備投資状況

区 分	名 称	該当事業所	金 額
購 入	ホームページ (リニューアル)	全事業所	173 万円
購 入	エアコン	本部 (1 階・2 台) 下千葉診療所 (1 階および 3 階事務室)	68 万円 50 万円
購 入	オージオメーター	篠原診療所	9 万円
購 入	ドライブレコーダー	本部 (1 台) 下千葉診療所 (2 台) 篠原診療所 (1 台) 金町診療所 (2 台)	36 万円
購 入	電動アシスト自転車	本部 ほりきり訪問看護ステーション かなまち訪問看護ステーション	13 万円 11 万円 13 万円
購 入	洗濯機	かなまち訪問看護ステーション	9 万円
リース	介護ソフト ほのぼの NEXT	ほりきり訪問看護ステーション かなまち訪問看護ステーション ヘルパステーション虹の輪 居宅介護支援事業所「ほりきり」	457 万円
リース	介護事業所 PC	ほりきり訪問看護ステーション かなまち訪問看護ステーション 居宅介護支援事業所「ほりきり」	129 万円
リース	電子カルテ PC	金町診療所	46 万円

(5) 他の法人との業務上の提携 該当なし

(6) 他の会社を子法人等及び関連法人等とすることとなる場合における当該他の会社の株式又は持分の取得 該当なし

(7) 事業の全部又は一部の譲渡又は譲受け、合併（当該合併後、当該組合が存続するものに限る）その他の組織の再編成 該当なし

(8) 教育事業等の状況

項目	内容	金額
広報活動	機関紙印刷代他	1,866,521 円
支部活動	支部運営費	396,041 円
社保活動	平和行動、高齢者大会他	22,000 円
教育活動	通信教育など	17,510 円

2. 組合の運営組織の状況に関する事項

(1) 前事業年度における総代会の開催状況

総代会開催日	2021年6月26日	
総代会日現在総代数		152名
出席総代	本人	20名
	代理人(委任)	0名
	書面	132名
	計	152名
第1号議案	2020年度事業報告、決算報告・損失処理案決定の件	全会一致で可決
第2号議案	2021年度事業計画、予算決定の件	全会一致で可決
第3号議案	定款変更の件	全会一致で可決
第4号議案	理事会規則変更の件	全会一致で可決
第5号議案	議案決議効力発生の件	全会一致で可決

(2) 組合員に関する事項

組合員出資金等増減表

区分	組合員数(人)	口数(口)	組合員出資金総額(円)
前期末現在	7,272	163,711	163,711,000
当期増加分	148	6,876	6,876,000
当期減少分	349	8,980	8,980,000
当期末現在	7,071	161,607	161,607,000

定款第10条第2項および所在不明組合員の自由脱退処理に関する規則に基づく処理
2022年3月31日に、137名1,324口の法定脱退及びみなし自由脱退処理を行いました。

(3) 役員に関する事項

①役員名簿（当期末 理事 26名、監事 4名）

役名	氏名	担当	区分
理事長(代表理事)	折笠 勉		非常勤
専務理事(代表理事)	矢島 渉		常勤
常務理事	金生谷 貞雄	下千葉東支部長	非常勤
常務理事	寒河江 則雄	「健康のはぐるま」編集委員長	非常勤
常務理事	佐々木 正子		非常勤
常務理事	高柳 ゆみ	健康づくり委員長	非常勤
常務理事	中村 初枝	水元支部長 地域活動委員長	非常勤
理事	阿部 千代子		非常勤
理事	石川 直子	篠原診療所事務長	常勤
理事	石島 安夫		非常勤
理事	岩田 叡之	社保・平和委員長	非常勤
理事	菅野 勝祐		非常勤
理事	菅野 穰	金町診療所事務長	常勤
理事	久保 瑛子		非常勤
理事	鈴木 和美	ほりきり訪問看護ステーション所長	常勤
理事	鈴木 富士雄		非常勤
理事	関川 冬樹	白鳥支部長	非常勤
理事	高橋 伸治		非常勤
理事	田原 嘉光		非常勤
理事	土岐 和枝	金町東支部長	非常勤
理事	南部 和代		非常勤
理事	西川 正二	下千葉支部長	非常勤
理事	萩原 佐知子		非常勤
理事	萩原 忍	文化レクリエーション委員長	非常勤
理事	間根山 正守	亀青支部長	非常勤
理事	渡邊 愛	下千葉診療所事務長	常勤
監事	齊藤 陽		非常勤
監事	佐々木 奈穂		非常勤
監事	入月 孝広		非常勤
監事	渡辺 正春		非常勤

②事業年度中に辞任した役員 なし

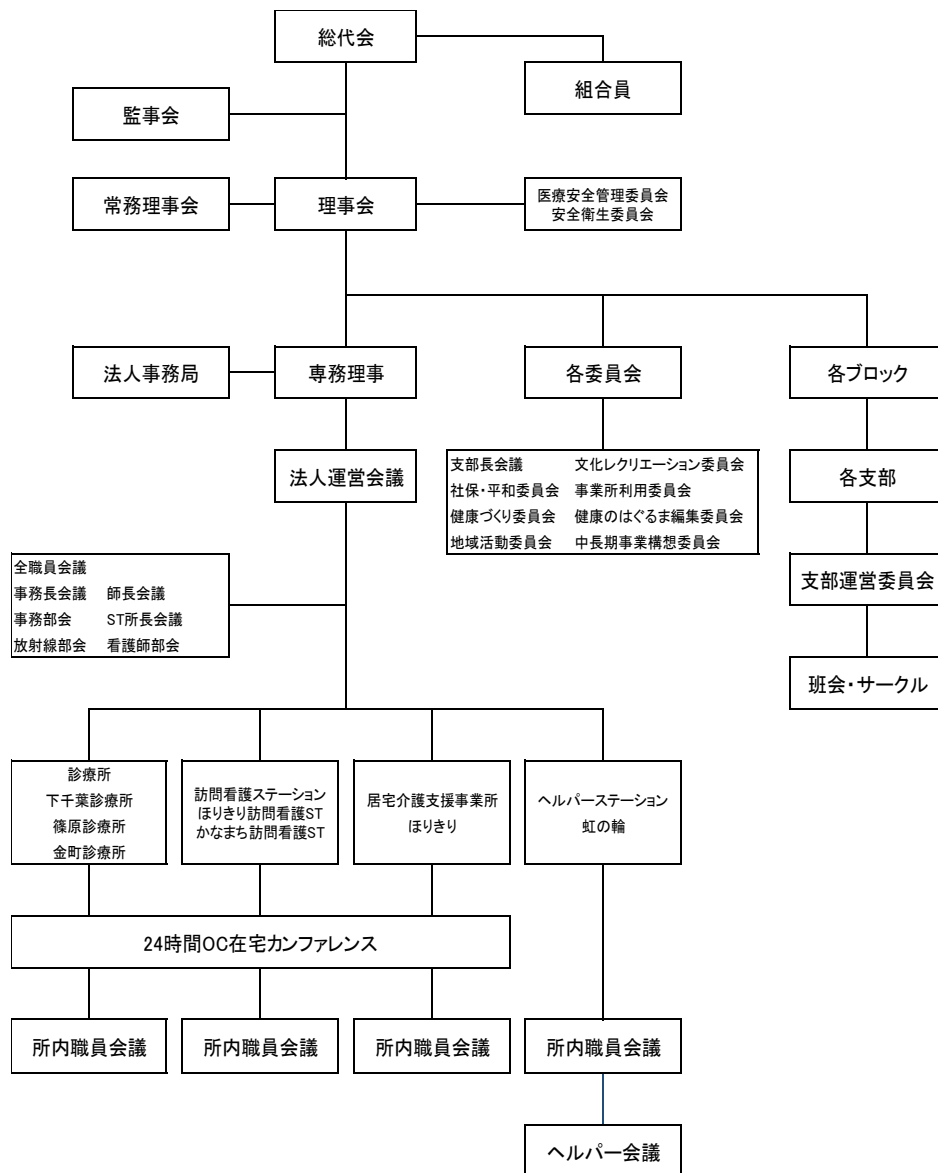
(4) 職員数及びその増減その他の職員の状況

区 分	当期末 (人)	前期末 (人)
正規職員数	38 平均年齢 51.82 歳 平均勤続年数 11.24 年	37
非常勤職員数 総数	30 (13)	35 (14)
正規換算数	13.6	17.6
職員合計 総数	68 (13)	72 (14)
正規換算数	51.6	54.6

* 正規職員換算：医師 40 単位／月、医師以外の職員 150 時間／月、() 内は登録ヘルパー

(5) 業務の運営の組織に関する事項

(組織図)



(6) 施設の設置状況に関する事項

施設一覧表

※ () は賃借部分

施設名	区分	所在地	土地 m ²	建物 延べ床面積m ²
本部 ほりきり訪問看護ステーション 居宅介護支援事業所「ほりきり」 ヘルパーステーション虹の輪		葛飾区白鳥 2-3-6		(315.96)
下千葉診療所		葛飾区堀切 7-13-24	394.56	354.81
篠原診療所		葛飾区四つ木 4-15-15	209.91	210.24
金町診療所		葛飾区東金町 1-15-5		(189.54)
かなまち訪問看護ステーション		葛飾区金町 5-14-6		(78.3)

(7) 子法人等及び関連法人等の状況に関する事項 該当なし

(8) 事業連合の状況に関する事項 該当なし

(9) その他組合の運営組織の状況に関する重要な事項 該当なし

3. その他組合の状況に関する重要な事項 該当なし

Ⅱ-2 事業報告書の附属明細書

1. 役員報酬等の状況

① 役員報酬等明細

区分	定款上の定員（人）	支給人員（人）	支給額	摘要
理事	25～30	26	10,212,000	
監事	3～5	3	360,000	
合計		29		

役員報酬限度額：理事報酬 2,000 万円、監事報酬 50 万円（第 39 回通常総代会にて議決）

② 役員退職慰労金明細 該当なし

2. 役員その他の法人等の業務執行者兼務状況

区分	常勤・非常勤	代表権の有無	氏名	兼務先名	
				名称	役職名
理事	常勤	有	矢島 渉	東京都生活協同組合連合会	理事
理事	非常勤	無	菅野 勝祐	社会福祉法人 かがやけ福社会	理事
監事	非常勤	無	入月 孝広	公益財団法人 ソーシャルサービス協会	理事

3. 組合と役員との間の利益が相反する取引の明細 該当なし

4. その他事業報告書の内容を補足する重要な事項 該当なし

[Memo]

II-3 決算関係書類

損益計算書

東京葛飾医療生活協同組合

自2021年4月1日 至2022年3月31日

(単位:円)

科目	当期	構成比	予算	増減	予算比	前期	増減	前年比
事業収益	549,674,916	100.0%	567,852,880	△ 18,177,964	96.8%	542,372,332	7,302,584	101.3%
医療事業収益	379,969,891	69.1%	393,711,900	△ 13,742,009	96.5%	374,885,519	5,084,372	101.4%
福祉事業収益	169,705,025	30.9%	174,140,980	△ 4,435,955	97.5%	167,486,813	2,218,212	101.3%
事業費用	543,258,124	98.8%	551,019,036	△ 7,760,912	98.6%	548,920,950	△ 5,662,826	99.0%
人件費	407,176,142	74.1%	415,922,200	△ 8,746,058	97.9%	414,071,591	△ 6,895,449	98.3%
材料費	20,881,746	3.8%	20,110,000	771,746	103.8%	23,256,645	△ 2,374,899	89.8%
医薬品費	9,334,285	1.7%	8,210,000	1,124,285	113.7%	10,287,530	△ 953,245	90.7%
診療材料費	11,547,461	2.1%	11,900,000	△ 352,539	97.0%	12,969,115	△ 1,421,654	89.0%
福祉材料費	0	0.0%	0	0	0.0%		0	#DIV/0!
委託費	27,668,042	5.0%	27,194,000	474,042	101.7%	26,936,261	731,781	102.7%
検査委託費	19,868,009	3.6%	19,603,000	265,009	101.4%	18,440,362	1,427,647	107.7%
清掃委託費	4,457,560	0.8%	4,113,000	344,560	108.4%	4,589,934	△ 132,374	97.1%
保守委託費	3,342,473	0.6%	3,478,000	△ 135,527	96.1%	3,905,965	△ 563,492	85.6%
経費	69,834,653	12.7%	70,457,836	△ 623,183	99.1%	68,528,649	1,306,004	101.9%
リース料	14,649,499	2.7%	15,223,000	△ 573,501	96.2%	13,878,220	771,279	105.6%
減価償却費	3,048,042	0.6%	2,112,000	936,042	144.3%	2,249,584	798,458	135.5%
事業総剰余金	6,416,792	1.2%	16,833,844	△ 10,417,052	38.1%	△ 6,548,618	12,965,410	-98.0%
事業外収益	4,172,432	0.8%	600,000	3,572,432	695.4%	6,455,454	△ 2,283,022	64.6%
受取利息	1,599	0.0%		1,599	-	1,224	375	130.6%
受取配当金	10,453	0.0%		10,453	-	8,853	1,600	118.1%
経費補助金	1,109,000	0.2%		1,109,000	#DIV/0!	4,228,485	△ 3,119,485	-
雑収入	3,051,380	0.6%	600,000	2,451,380	508.6%	2,216,892	834,488	137.6%
事業外費用	2,452,504	0.4%	1,992,000	460,504	123.1%	1,752,403	700,101	140.0%
支払利息	1,941,405	0.4%	1,800,000	141,405	107.9%	1,384,054	557,351	140.3%
繰延資産償却費	191,249	0.0%	192,000	△ 751	99.6%	365,000	△ 173,751	52.4%
雑損失	319,850	0.1%	0	319,850	-	3,349	316,501	9550.6%
経常剰余金	8,136,720	1.5%	15,441,844	△ 7,305,124	52.7%	△ 1,845,567	9,982,287	-440.9%
特別利益	2,170,100	0.4%	0	2,170,100	-	877,000	1,293,100	247.4%
特別損失	10,175	0.0%	0	10,175	-	14,161,068	△ 14,150,893	0.1%
税引前当期剰余金	10,296,645	1.9%	15,441,844	△ 5,145,199	66.7%	△ 15,129,635	25,426,280	-68.1%
法人税等	3,442,900	0.6%	0	3,442,900	-	472,600	2,970,300	728.5%
当期剰余金	6,853,745	1.2%	15,441,844	△ 8,588,099	44.4%	△ 15,602,235	22,455,980	-43.9%
前期繰越剰余金	△ 70,636,796	-12.9%				0	0	-
医療福祉等事業積立取崩	0	0.0%				0	0	-
任意積立金取崩	0	0.0%				0	0	-
当期末処分損失金剰余金	△ 63,783,051	-11.6%				△ 70,636,796	△ 6,853,745	90.3%

人件費及び経費明細書

東京葛飾医療生活協同組合

自2021年4月1日 至2022年3月31日

(単位:円)

科 目	当 期	構成比	予 算	増 減	予算比	前 期	増 減
役員報酬	10,536,000	1.9%	10,692,000	△ 156,000	98.5%	9,792,000	744,000
職員給与	193,197,857	35.1%	200,788,000	△ 7,590,143	96.2%	188,441,698	4,756,159
非常勤職員給与	117,597,173	21.4%	119,806,200	△ 2,209,027	98.2%	128,342,806	△ 10,745,633
出向人件費	363,840	0.1%	408,000	△ 44,160	89.2%	449,496	△ 85,656
賞与引当金繰入	30,396,524	5.5%	30,480,000	△ 83,476	99.7%	28,915,746	1,480,778
法定福利費	41,416,748	7.5%	40,080,000	1,336,748	103.3%	41,253,095	163,653
退職給付引当金繰入	13,668,000	2.5%	13,668,000	0	100.0%	16,876,750	△ 3,208,750
人 件 費	407,176,142	74.0%	415,922,200	△ 8,746,058	97.9%	414,071,591	△ 6,895,449

科 目	当 期	構成比	予 算	増 減	予算比	前 期	増 減
職員被服費	1,799,135	0.3%	1,796,000	3,135	100.2%	1,835,915	△ 36,780
旅費交通費	12,254	0.0%	87,000	△ 74,746	14.1%	9,098	3,156
厚生費	2,177,000	0.4%	2,276,000	△ 99,000	95.7%	1,761,142	415,858
通信費	4,984,210	0.9%	4,495,000	489,210	110.9%	4,685,649	298,561
渉外費	46,473	0.0%	20,000	26,473	232.4%	20,000	26,473
地代・家賃	20,713,400	3.8%	20,680,800	32,600	100.2%	20,666,400	47,000
保険料	830,030	0.2%	560,000	270,030	148.2%	1,255,752	△ 425,722
修繕費	488,534	0.1%	472,000	16,534	103.5%	404,200	84,334
水道光熱費	4,182,087	0.8%	3,878,000	304,087	107.8%	4,036,775	145,312
車両運搬費	527,211	0.1%	568,000	△ 40,789	92.8%	499,788	27,423
消耗品費	3,702,000	0.7%	4,016,000	△ 314,000	92.2%	4,358,802	△ 656,802
事務費	0	0.0%	0	0	0.0%	0	0
委託費	4,146,785	0.8%	3,488,000	658,785	118.9%	3,958,179	188,606
採用費	5,551,822	1.0%	2,998,000	2,553,822	185.2%	4,255,893	1,295,929
租税公課	4,994,203	0.9%	6,530,000	△ 1,535,797	76.5%	4,235,462	758,741
繰延消費税償却費	28,112	0.0%	0	28,112	0.0%	272,514	△ 244,402
諸会費	7,306,200	1.3%	8,150,040	△ 843,840	89.6%	7,503,612	△ 197,412
研究研修費	299,954	0.1%	474,000	△ 174,046	63.3%	448,899	△ 148,945
教育文化費	2,397,991	0.4%	4,260,000	△ 1,862,009	56.3%	3,546,709	△ 1,148,718
会議費	141,753	0.0%	929,000	△ 787,247	15.3%	614,053	△ 472,300
衛生費	3,725,796	0.7%	2,398,000	1,327,796	155.4%	2,953,928	771,868
貸倒引当金	620,000			620,000			620,000
雑費	66,824	0.0%	1,571,000	△ 1,504,176	4.3%	55,898	10,926
一括償却資産償却費	1,092,879	0.2%	810,996	281,883	134.8%	1,149,981	△ 57,102
経 費	69,834,653	12.7%	70,457,836	△ 623,183	99.1%	68,528,649	1,306,004

貸借対照表

2022年3月31日

科 目	当 期	構成比	期 首	構成比	増 減	増減率
(資 産 の 部)						
流動資産合計	240,397,375	55.8%	254,508,006	50.4%	△ 14,110,631	94.5%
現金及び預金	140,287,019	32.6%	163,647,875	32.4%	△ 23,360,856	85.7%
医療福祉等事業未収金	74,223,128	17.2%	77,358,017	15.3%	△ 3,134,889	95.9%
負担金未収金	3,631,495	0.8%	4,422,101	0.9%	△ 790,606	82.1%
未請求未収金	5,993,059	1.4%	2,718,690	0.5%	3,274,369	220.4%
健診未収金	5,299,979	1.2%	2,702,683	0.5%	2,597,296	196.1%
保健予防活動未収金	9,116,636	2.1%	702,202	0.1%	8,414,434	1298.3%
その他未収金	10,412	0.0%	2,393	0.0%	8,019	435.1%
医薬品	519,204	0.1%	487,214	0.1%	31,990	106.6%
診療材料	519,745	0.1%	662,924	0.1%	△ 143,179	78.4%
貯蔵品	798,004	0.2%	1,120,966	0.2%	△ 322,962	71.2%
前払費用	618,694	0.1%	569,681	0.1%	49,013	108.6%
立替金	0	0.0%	113,260	0.0%	△ 113,260	0.0%
仮払金	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
貸倒引当金	△ 620,000	-0.1%	0	0.0%	△ 620,000	-
固定資産合計	190,379,626	44.2%	250,844,342	49.6%	△ 60,464,716	75.9%
土地	160,836,804	37.3%	160,836,804	31.8%	0	100.0%
建物	128,111,288	29.7%	128,111,288	25.4%	0	100.0%
建物付属設備	46,071,951	10.7%	46,071,951	9.1%	0	100.0%
構築物	9,217,039	2.1%	9,854,439	2.0%	△ 637,400	93.5%
医療器械	36,185,050	8.4%	36,185,050	7.2%	0	100.0%
什器・備品	23,003,638	5.3%	22,366,638	4.4%	637,000	102.8%
車輛運搬具	727,047	0.2%	1,126,362	0.2%	△ 399,315	64.5%
減価償却累計額	△ 232,095,291	-53.9%	△ 230,948,789	-45.7%	△ 1,146,502	100.5%
一括償却資産	1,032,838	0.2%	1,732,597	0.3%	△ 699,759	59.6%
有形固定資産合計	173,090,364	40.2%	175,336,340	34.7%	△ 2,245,976	98.7%
ソフトウェア	5,845,232	1.4%	4,107,232	0.8%	1,738,000	142.3%
電話加入権	883,212	0.2%	883,212	0.2%	0	100.0%
無形固定資産合計	6,728,444	1.6%	4,990,444	1.0%	1,738,000	134.8%
関係団体出資金	6,580,000	1.5%	6,580,000	1.3%	0	100.0%
繰延資産	0	0.0%	0	0.0%	0	#DIV/0!
差入保証金	2,500,000	0.6%	2,500,000	0.5%	0	100.0%
権利金	363,197	0.1%	209,446	0.0%	153,751	173.4%
繰延消費税	0	0.0%	28,112	0.0%	△ 28,112	0.0%
長期預金	0	0.0%	61,200,000	12.1%	△ 61,200,000	0.0%
長期未収金	1,117,621	#DIV/0!	0	#DIV/0!	1,117,621	#DIV/0!
その他固定資産合計	10,560,818	2.5%	70,517,558	14.0%	△ 59,956,740	15.0%
資産の部 合計	430,777,001	100.0%	505,352,348	100.0%	△ 74,575,347	85.2%

東京葛飾医療生活協同組合

(単位:円)

科 目	当 期	構成比	期 首	構成比	増 減	増減率
(負 債 の 部)						
流動負債合計	30,914,452	7.2%	27,161,644	5.4%	3,752,808	113.8%
買掛金	6,621,858	1.5%	5,226,022	1.0%	1,395,836	126.7%
未払金	399,707	0.1%	780,973	0.2%	△ 381,266	51.2%
未払費用	2,723,982	0.6%	2,771,909	0.5%	△ 47,927	98.3%
未払給与	8,721,383	2.0%	8,902,820	1.8%	△ 181,437	98.0%
短期借入金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
未払消費税	2,880,200	0.7%	2,424,800	0.5%	455,400	118.8%
仮受金	0	0.0%	309,225	0.1%	△ 309,225	-
賞与引当金	0	0.0%	0	0.0%	0	-
預り金	6,124,422	1.4%	6,215,895	1.2%	△ 91,473	98.5%
未払税金	3,442,900	0.8%	530,000	0.1%	2,912,900	649.6%
固定負債合計	302,038,600	70.1%	385,116,500	76.2%	△ 83,077,900	78.4%
長期借入金	143,052,000	33.2%	231,416,000	45.8%	△ 88,364,000	61.8%
退職給付引当金	158,986,600	36.9%	153,700,500	30.4%	5,286,100	103.4%
負債の部 合計	332,953,052	77.3%	412,278,144	81.6%	△ 79,325,092	80.8%
(純 資 産 の 部)						
組合員資本	161,607,000	37.5%	163,711,000	32.4%	△ 2,104,000	98.7%
出資金	161,607,000	37.5%	163,711,000	32.4%	△ 2,104,000	98.7%
剰余金	△ 63,783,051	-14.8%	△ 70,636,796	-14.0%	△ 6,853,745	90.3%
当期末処分剰余金	63,783,051	14.8%	70,636,796	14.0%	△ 6,853,745	90.3%
(うち当期剰余金)	6,853,745	1.6%	0	0.0%	6,853,745	-
純資産の部 合計	97,823,949	22.7%	93,074,204	18.4%	4,749,745	105.1%
負債・純資産合計	430,777,001	100.0%	505,352,348	100.0%	△ 74,575,347	85.2%

キャッシュフロー計算書

東京葛飾医療生活協同組合

自2021年4月1日 至2022年3月31日

(単位:千円)

	2021年度実績	2020年度実績	前年差額
I. 事業活動によるキャッシュフロー			
当期純損益	6,853	△ 15,602	22,455
減価償却費等(+)	3,048	2,249	799
固定資産除却損等(+)	0	1,153	△ 1,153
事業未収金償却費等(+)	0	3	△ 3
非資金費用(+)	3,048	3,405	△ 357
事業未収金増減額	△ 10,368	1,288	△ 11,656
棚卸資産増減額	433	△ 636	1,069
仕入債務増減額	1,014	△ 487	1,501
賞与・貸倒引当金増減額	0	0	0
その他流動資産増減額	66	△ 1,109	1,175
その他流動負債増減額	2,731	715	2,016
資産負債増減額	△ 6,124	△ 229	△ 5,895
退職給付引当金繰入額(+)	158,986	16,876	142,110
退職金支出額(-)	△ 153,700	△ 10,064	△ 143,636
退職金	5,286	6,812	△ 1,526
支払利息計上額(+)	1,941	1,384	557
利息支払額(-)	△ 1,941	△ 1,384	△ 557
支払利息	0	0	0
法人税等および同調整額(+)	3,442	473	2,969
法人税等支出額(-)	△ 2,954	△ 1,003	△ 1,951
法人税等	488	△ 530	1,018
事業活動によるキャッシュフロー	9,551	△ 6,144	15,695
II. 投資活動によるキャッシュフロー			
有形固定資産の取得による支出(-)	△ 1,905	△ 3,124	1,219
有形固定資産の売却による収入(+)	0	0	0
無形固定資産の取得による支出(-)	△ 1,738	△ 2,707	969
無形固定資産の償却による収入(+)	0	67	△ 67
その他固定資産の取得による支出(-)	0	△ 16	16
その他固定資産の償却による収入(+)	0	468	△ 468
投資活動によるキャッシュフロー	△ 5,312	△ 5,312	1,669
III. 財務活動によるキャッシュフロー			
短期借入金による収入(+)	0	0	0
短期借入金の返済による支出(-)	0	0	0
長期借入金による収入(+)	0	100,000	△ 100,000
長期借入金の返済による支出(-)	△ 88,364	△ 32,124	△ 56,240
特定協力借入金による収入(+)	0	0	0
特定協力借入金の返済による支出(-)	0	0	0
出資金増資による収入(+)	6,952	7,671	△ 719
出資金減資による支出(-)	△ 9,056	△ 14,021	4,965
受取寄付金による収入(+)	0	0	0
固定資産表示定期預金等の増減	61,200	△ 20,400	81,600
その他の収入・支出	0	0	0
財務活動によるキャッシュフロー	△ 29,268	41,126	△ 70,394
IV. 現金および現金同等物の増減額	△ 23,360	29,670	△ 53,030
V. 現金および現金同等物の期首残高	163,647	133,977	29,670
VI. 現金および現金同等物の期末残高	140,287	163,647	△ 23,360

<注記>

項目	規則	詳細								
重要な会計方針に関わる事項に関する注記	112	<p>1.棚卸資産の評価基準及び評価方法 最終仕入原価法による。</p> <p>2.固定資産の減価償却の方法 有形固定資産は定率法による。ただし、1998年4月1日以降取得した建物、および2016年4月1日以降取得した建物付属設備、構築物は定額法による。</p> <p>3.引当金の計上基準 退職給付引当金 職員の退職により支給する退職給付に備えるため当期末における退職債務を退職給付引当金として計上する。</p> <p>① 自己都合退職による期末要支給額 158,986,600 円 ② 期末退職給付引当金 158,986,600 円 ③ 期末要支給額に対する対応割合 100%</p> <p>4.消費税の会計処理は税込み方式とする。 ただし、繰延消費税の償却分を消費税科目に計上する。</p> <p>5.キャッシュフロー計算書における資金の範囲 キャッシュフロー計算書における資金の範囲は現金、普通預金、積立預金等流動資産に計上された預金の合計とする。</p> <p>6.特別利益 法定脱退及びみなし自由脱退に伴う特別利益 1,324,000 円を計上している。</p>								
貸借対照表に関する注記	114	<p>1.担保に供している資産および担保に関わる債務</p> <p>(1)担保に供している資産</p> <table data-bbox="678 1406 1098 1541"> <tr> <td>建物</td> <td>4,717,631 円</td> </tr> <tr> <td>土地</td> <td>128,463,210 円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>133,180,841 円</td> </tr> </table> <p>(2)担保に関わる債務</p> <table data-bbox="678 1599 1098 1637"> <tr> <td>長期借入金</td> <td>143,052,000 円</td> </tr> </table> <p>2.事業協同組合協立医師協同組合に 4,550,000 円（出資全体に対する割合 0.78%）を出資している。 協立医師協同組合に対して薬品診療材料等買掛金 886,156 円がある。</p> <p>3.長期預金 なし 4.繰延資産 なし 5.貸倒引当金 2021 年度より引き当てを開始した。</p>	建物	4,717,631 円	土地	128,463,210 円	計	133,180,841 円	長期借入金	143,052,000 円
建物	4,717,631 円									
土地	128,463,210 円									
計	133,180,841 円									
長期借入金	143,052,000 円									

Ⅱ-4 決算関係書類の附属明細書

2022年3月31日

1/6

組合員資本明細 (単位:円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
出資金	163,711,000	6,952,000	9,056,000	161,607,000
法定準備金				
任意積立金				
合計	163,711,000	6,952,000	9,056,000	161,607,000

長期借入金明細 (単位:円)

借入先	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
協立医師協同組合	61,200,000	0	61,200,000	0
亀有信用金庫 堀切支店	71,416,000	0	28,364,000	43,052,000
医療福祉機構	0	100,000,000	0	100,000,000
合計	132,616,000	0	89,564,000	143,052,000

短期借入金明細 (単位:円)

借入先	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
協立医師協同組合	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

有形固定資産明細 (単位:円)

資産の種類		期首帳簿価格	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿価格	償却累計額
土地	下千葉診療所	128,463,210				128,463,210	
	篠原診療所	32,373,594				32,373,594	
合計		160,836,804	0	0	0	160,836,804	
建物		128,111,288	0	0	0	128,111,288	121,975,307
建物附属設備		46,071,951	887,735	887,735	0	46,071,951	41,822,135
構築物		9,854,439	0	637,400	0	9,217,039	8,445,405
医療器械		36,185,050	0	0	0	36,185,050	35,923,378
什器・備品		22,366,638	1,608,250	971,250	0	23,003,638	21,225,284
車輛・運搬具		1,126,362	0	399,315	0	727,047	727,043
一括償却資産		1,732,597	1,269,821	1,969,580	0	1,032,838	1,032,838
合計		243,715,728	3,765,806	4,865,280	0	242,616,254	231,151,390
総合計		404,552,532	3,765,806	4,865,280	0	403,453,058	

無形固定資産明細

(単位:円)

資産の種類	期首帳簿価格	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿価格	償却累計額
ソフトウェア	4,107,232	1,921,859	183,859	794,632	5,845,232	1,976,739
電話加入権	883,212				883,212	
合計	4,990,444	1,921,859	183,859	794,632	6,728,444	1,976,739

関係団体出資金明細

(単位:円)

出資先	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
東京都生活協同組合連合会	600,000	0	0	600,000
日本医療福祉生活協同組合連合会	800,000	0	0	800,000
全日本民医連厚生事業協同組合	135,000	0	0	135,000
保健医療福祉協同組合	100,000	0	0	100,000
中央労働金庫	205,000	0	0	205,000
亀有信用金庫	80,000	0	0	80,000
中ノ郷信用組合	10,000	0	0	10,000
賀川記念全国生協教育協会	100,000	0	0	100,000
協立医師協同組合	4,550,000	0	0	4,550,000
合計	6,580,000	0	0	6,580,000

引当金明細

(単位:円)

内訳	期首残高	当期増加額	当期減少額	当期減少額(調整)	期末残高
賞与引当金		30,480,000	30,480,000	0	0
退職給付引当金	153,700,500	13,668,000	8,381,900	0	158,986,600
合計	153,700,500	44,148,000	38,861,900		158,986,600

預り金明細

(単位:円)

内訳	金額
源泉所得税	1,501,968
住民地方税	1,079,000
厚生年金保険料	1,594,113
協会けんぽ健康保険料	1,129,869
労働雇用保険料	120,094
民医連共済掛金	407,958
葛生協共済会	132,000
健保・共済	159,420
合計	6,124,422

現預金明細 (単位:円)

区分	期首残高	期末残高	当期増減額
本部現金	486,336	432,700	△ 53,636
小口現金	346,153	465,121	118,968
普通預金	162,815,386	139,389,198	△ 23,426,188
積立預金	0	0	0
合計	163,647,875	140,287,019	△ 23,360,856

差入保証金明細 (単位:円)

差入先	金額
(有)田邑商事	1,700,000
鈴木静子(訪問看護事務所)敷金	800,000
合計	2,500,000

医療福祉事業未収金及び未収金明細 (単位:円)

内 訳	期首残高	期末残高	当期増減額
東京都社会保険診療報酬支払基金	11,149,784	10,471,841	△ 677,943
東京都国民健康保険団体連合会	11,470,834	7,849,189	△ 3,621,645
東京都国民健康保険団体連合会(後期高齢者医療)	25,813,189	27,571,134	1,757,945
東京都国民健康保険団体連合会(介護給付費)	27,453,293	955,488	△ 26,497,805
葛飾区(公害保健)	1,161,708	27,000,927	25,839,219
葛飾区(介護保険)	308,129	308,129	0
明治大学学生健康保険組合	1,080	0	△ 1,080
その他	0	66,420	66,420
保険未収金合計	77,358,017	74,223,128	△ 3,134,889
負担金未収金	4,422,101	3,631,495	△ 790,606
未請求未収金	2,718,690	5,993,059	3,274,369
葛飾区医師会/国保連(健診未収金)	1,405,554	2,408,739	1,003,185
東京土建国保・健診	583,460	1,286,160	702,700
その他事業所健診	713,669	1,605,080	891,411
健診未収金合計	2,702,683	5,299,979	2,597,296
保健予防活動未収金・葛飾区予防接種	858,241	9,116,636	8,258,395
その他未収金・葛飾区介護保険課(認定調査)	5,021	0	△ 5,021
総合計	88,064,753	98,264,297	10,199,544

棚卸資産明細 (単位:円)

内 訳	期首棚卸高	期末棚卸高	当期増減額
下千葉診療所	774,473	665,602	△ 108,871
篠原診療所	338,610	317,276	△ 21,334
金町診療所	268,676	227,147	△ 41,529
ほりきり訪看ST	246,003	170,826	△ 75,177
かなまち訪看ST	152,803	78,974	△ 73,829
ヘルパースTRの輪	284,864	160,006	△ 124,858
居宅ほりきり	58,187	0	△ 58,187
事務局	147,488	217,122	69,634
合 計	2,271,104	1,836,953	△ 434,151

材料費明細 (単位:円)

内 訳	期首残高	当期仕入高	期末残高	当期費用
医薬品費	487,214	9,334,285	519,204	9,334,285
診療材料費	662,924	11,547,461	519,745	11,547,461
福祉材料費				
材料費合計	1,150,138	20,770,557	1,038,949	20,881,746
貯蔵品(消耗品・衛)	1,120,966	7,427,796	798,004	7,427,796
総 合 計	2,271,104	27,875,391	1,836,953	28,309,542

流動資産明細 (単位:円)

内 訳	期首残高	期末残高	当期増減額	
前払費用	通勤手当	569,681	618,694	49,013
	その他前払費用	0	0	
	総代会会場費	0	0	0
仮払金	0	0		
立替金(出向料・住民税)	0	0	0	
合 計	569,681	618,694	49,013	

繰延資産 (単位:円)

内 訳	期首残高	当期増減額	期末残高
葛飾区医師会入会金(H28.3)	0	0	0
葛飾区医師会互助会入会金(H28.3)	0	0	0
合 計	0	0	0

雑収入明細 (単位:円)

内 訳	金 額
課税)自動販売機手数料(コカ・コーラボトラーズジャパン株)	58,427
課税)その他課税収入	345,237
課税仕入△)預金利用分量配当金	28,574
課税仕入△)民医連厚生事業 利用配当金	48,300
非課税)互助会積立満期利息	283,050
不課税)出資金寄付	325,000
不課税)民医連共済助成金	49,000
不課税)新型コロナウイルスワクチン接種促進事業	85,000
不課税)所得税還付金	1,993
不課税)法人税繰戻還付金	1,508,979
不課税)地方法人税繰戻還付金	66,395
不課税)日本医療福祉生協連 寄付金	200,000
不課税)現金過不足	3,425
不課税)災害時訓練謝礼	48,000
雑収入(課税・非課税・不課税)計	3,051,380

雑損失明細 (単位:円)

内 訳	金 額
白鳥ビル 看板撤去費用	297,000
過年度分コロナウイルス感染予防補助金返金	22,850
雑損失 計	319,850

その他特別利益 (単位:円)

内 訳	金 額
組合員出資金みなし脱退	1,324,000
過年度分コロナウイルス感染予防補助金	486,000
雑損失 計	1,810,000

買掛金明細 (単位:円)

相手先	金額
協立医師協同組合	886,156
病体生理研究所	4,179,772
株式会社ススケ	277,588
株式会社 デイセイ	124,585
株式会社 星医療酸器	316,800
フクダ電子工業株式会社	2,200
株式会社 LSIメディアエンス	15,620
株式会社ガス研	75,240
株式会社世田谷酸素商事	27,500
富士テレコム株式会社	4,312
中央ビジコム株式会社	120,912
株式会社ホスピタル・クリーン・サポート	316,360
株式会社メディアカルシー	37,950
富士フィルムメディアカル株式会社	64,863
公益財団法人社会医学研究センター	43,300
帝人ヘルスケア株式会社	75,900
株式会社サイサン	52,800
合計	6,621,858

未払金明細 (単位:円)

相手先	金額
日本医療福祉生活協同組合連合会	13,677
株式会社伊賀屋	139,841
株式会社マルコシ葛飾店	27,664
SMAサポート株式会社	32,890
柳原リハビリテーション病院	34,280
MRT株式会社	52,800
株式会社クランツ	63,800
株式会社エムステージ	30,800
株式会社ナイチンゲール	3,955
合計	399,707

リース債務の明細 (単位:円)

リース物件	期末リース残額
日本医療福祉生協連	3,217,170
三菱HCBビジネス(旧 日立キャピタルNBL(株))	16,278,363
三井住友トラスト・ハナソクニックファイナンス(株)	4,315,080
リコリース(株)	452,088
合計	24,262,701

事業別損益計算書

東京葛飾医療生活協同組合

自2021年4月1日 至2022年3月31日

(単位:円)

事業所区分 科目	本部 事務局	診療所 事業	訪問看護 事業	居宅介護支援 事業	訪問介護 事業	法人 合計
医療事業						
医療事業収益		350,683,885	29,758,883			380,442,768
医療事業費用		355,554,251	26,408,455			381,962,706
医療事業剰余金		△ 4,870,366	3,350,428	0	0	△ 1,519,938
福祉事業						
福祉事業収益		7,391,214	72,129,251	52,126,431	37,585,252	169,232,148
福祉事業費用		10,996,524	64,655,183	44,926,293	44,452,647	165,030,647
福祉事業剰余金		△ 3,605,310	7,474,068	7,200,138	△ 6,867,395	4,201,501
事業費用	△ 3,735,229	366,550,775	91,063,638	44,926,293	44,452,647	543,258,124
事業総剰余金	△ 45,824,771	24,524,324	19,464,496	11,520,138	△ 3,267,395	6,416,792
本部費	△ 49,560,000	33,000,000	8,640,000	4,320,000	3,600,000	0
事業剰余金	△ 45,824,771	△ 8,475,676	10,824,496	7,200,138	△ 6,867,395	△ 43,143,208
事業外収益	2,666,195	1,141,237	365,000	0	0	4,172,432
受取利息	1,599		0	0	0	1,599
受取配当金	10,453		0	0	0	10,453
経費補助金	0	989,000	120,000	0	0	1,109,000
雑収入	2,654,143	152,237	245,000	0	0	3,051,380
事業外費用	2,385,830	0	66,674	0	0	2,452,504
支払利息	1,941,405	0	0	0	0	1,941,405
繰延資産償却費	124,575	0	66,674	0	0	191,249
雑損失	319,850	0	0	0	0	319,850
経常剰余金	4,015,594	△ 7,334,439	11,122,822	7,200,138	△ 6,867,395	8,136,720
特別利益	1,364,000	646,100	80,000	40,000	40,000	2,170,100
特別損失	3	0	2	10,166	4	10,175
税引前当期剰余金	5,379,591	△ 6,688,339	11,202,820	7,229,972	△ 6,827,399	10,296,645
法人税等	3,442,900	0	0	0	0	3,442,900
当期剰余金	1,936,691	△ 6,688,339	11,202,820	7,229,972	△ 6,827,399	6,853,745
前期繰越剰余金	△ 70,636,796					△ 70,636,796
医療福祉等事業積立金取崩						
任意積立金取崩						
当期末処分剰余金						△ 63,783,051

事業別費用

東京葛飾医療生活協同組合

自2021年4月1日 至2022年3月31日

(単位:円)

事業別区分 科目	本部 事務局	診療所 事業	訪問看護 事業	居宅介護支援 事業	訪問介護 事業	法人 合計
1 材料費						
医薬品費		9,334,285				9,334,285
診療材料費		11,432,880	114,581			11,547,461
福祉材料費						0
材料費合計		20,767,165	114,581	0	0	20,881,746
2 人件費						
役員報酬	10,536,000					10,536,000
職員給与	7,880,094	108,318,017	40,287,817	19,480,320	17,231,609	193,197,857
非常勤職員給与	25,500	84,913,417	14,403,162	7,313,867	10,941,227	117,597,173
出向人件費	172,800	191,040				363,840
付替人件費	0	59,744	△ 519,744	115,000	345,000	0
退職給付費用	1,080,000	6,996,000	3,012,000	1,476,000	1,104,000	13,668,000
法定福利費	3,586,939	23,215,317	7,187,246	3,973,674	3,453,572	41,416,748
賞与及び賞与引当金繰入	1,606,524	15,150,000	6,700,000	3,890,000	3,050,000	30,396,524
人件費合計	24,887,857	238,843,535	71,070,481	36,248,861	36,125,408	407,176,142
3 委託費						
検査委託費	1,310	19,852,859		13,840		19,868,009
清掃委託費	206,210	4,243,340	2,670	2,670	2,670	4,457,560
保守委託費	170,254	2,872,310	131,244	128,145	40,520	3,342,473
委託費合計	377,774	26,968,509	133,914	144,655	43,190	27,668,042
4 減価償却費	2,569,347	△ 62,213	△ 253,724	794,632		3,048,042
5 リース料	1,391,645	10,615,886	1,024,575	999,860	617,533	14,649,499
6 経費						
職員被服費		1,737,270	61,865			1,799,135
旅費交通費	2,460	3,978	2,100	3,716		12,254
厚生費	2,020,452	25,340	99,040	7,500	24,668	2,177,000
通信費	664,602	2,070,146	1,387,714	583,496	278,252	4,984,210
渉外費	35,000	11,473				46,473
地代・家賃	2,282,400	10,391,000	4,440,000	1,800,000	1,800,000	20,713,400
保険料	12,938	444,832	116,420	68,880	186,960	830,030
修繕費	282,400	168,534	37,600			488,534
水道光熱費	166,344	3,252,672	443,453	162,596	157,022	4,182,087
車両運搬費	4,200	443,701	27,710	25,800	25,800	527,211
消耗品費	922,256	2,063,382	368,251	194,578	153,533	3,702,000
事務費						0
委託費	3,096,230	802,465	141,910	38,543	67,637	4,146,785
採用費		3,856,645	1,695,177			5,551,822
租税公課	1,995,353	2,998,650			200	4,994,203
繰延消費税償却	28,112					28,112
諸会費	1,376,165	5,224,122	527,243		178,670	7,306,200
研究研修費	83,653	175,195	30,306		10,800	299,954
教育文化費	2,397,991					2,397,991
会議費	141,753					141,753
衛生費	482,408	2,228,257	485,479	286,774	242,878	3,725,796
雑費	34,923	26,351		5,550		66,824
一括資産償却費	121,308	321,080	469,543	35,484	145,464	1,092,879
貸倒引当金繰入	620,000					620,000
経費合計	16,770,948	36,245,093	10,333,811	3,212,917	3,271,884	69,834,653
事業費用合計	45,997,571	333,377,975	82,423,638	41,400,925	40,058,015	543,258,124

2022年6月18日

損失処理案

(単位：円)

I.	当期首繰越剰余金	▲70,636,796
II.	当期剰余金	6,853,745
III.	当期末処理剰余金	▲63,783,051
IV.	次期繰越剰余金	▲63,783,051

監査報告

私たち監事は、2021年4月1日から2022年3月31日までの2021年度の組合の財産及び理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下の通り報告いたします。

1、監査の方法及びその内容

監事会は、監査の方針、職務の分担を決め、監査の実施状況及び監査結果について報告を受けるほか、理事などから職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

各監事は、定款第43条（監事の職務等）及び監事監査規則に準拠して、理事及び職員等と意思疎通を図り、理事会その他重要な会議に出席し、その職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な経営に関する書類を閲覧し、事業所における業務及び財産の状況を調査しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る決算関係書類（貸借対照表、損益計算書、損失処理案）及びその付属明細書について検討いたしました。

2、監査の結果

（1）事業報告書等の監査結果

①事業報告書及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。

②理事の職務の執行に関する不正の行為又は、法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）決算関係書類（損失処理案を除く）及びその付属明細書の監査結果

決算関係書類（損失処理案を除く）及びその付属明細書は、組合の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。





（3）損失処理案の監査結果

損失処理案は法令及び定款に適合し、かつ組合財産の状況その他の事情に照らして指摘する事項は認められません。

以上

2022年5月25日

東京葛飾医療生活協同組合

監事 入 月 孝 広 
監事 齊 藤 陽 
監事 佐々木 奈 穂 
監事 渡 邊 正 春 

参考

過去3年損益計算書推移

2019年度～2021年度		(単位 円)		(単位 円)		
科 目	2021年度	構成比	2020年度	構成比	2019年度	構成比
事業収益	549,674,916	100.0%	542,372,332	100.0%	565,681,937	100.0%
医療事業収益	379,969,891	69.1%	374,885,519	68.9%	389,834,828	69.4%
福祉事業収益	169,705,025	30.9%	167,486,813	31.1%	175,847,109	30.6%
事業費用	543,258,124	98.8%	548,920,950	99.9%	565,166,572	97.9%
医薬品費	9,334,285	1.7%	10,287,530	1.6%	9,073,236	1.4%
診療材料費	11,547,461	2.1%	12,969,115	2.1%	11,823,993	2.1%
福祉材料費		0.0%			3,546	0.0%
材料費	20,881,746	3.8%	23,256,645	3.7%	20,900,775	3.5%
人件費	407,176,142	74.1%	414,071,591	75.4%	426,760,446	75.8%
検査委託費	19,868,009	3.6%	18,440,362	3.5%	19,633,533	3.3%
清掃委託費	4,457,560	0.8%	4,589,934	0.8%	4,451,794	0.7%
保守委託費	3,342,473	0.6%	3,905,965	0.5%	2,968,680	0.6%
委託費	27,668,042	5.0%	26,936,261	4.8%	27,054,007	4.6%
減価償却費	3,048,042	0.6%	2,249,584	0.6%	3,174,909	0.6%
リース料	14,649,499	2.4%	13,878,220	2.5%	14,302,909	2.3%
経費	69,834,653	11.1%	68,528,649	12.9%	72,973,526	11.0%
事業総剰余金	6,416,792	1.2%	△ 6,548,618	0.1%	515,365	2.1%
事業外収益	4,172,432	0.8%	6,455,454	0.4%	2,302,505	0.2%
受取利息	1,599		1,224		133,644	0.0%
受取配当金	10,453		8,853		8,850	0.0%
経費補助金	1,109,000	0.2%	4,228,485			
雑収益	3,051,380	0.6%	2,216,892	0.4%	2,160,011	0.2%
事業外費用	2,452,504	0.4%	1,752,403	0.4%	2,315,910	0.5%
支払利息	1,941,405	0.4%	1,384,054	0.3%	1,948,752	0.4%
繰延資産償却費	191,249		365,000	0.1%	353,888	0.1%
雑損失	319,850	0.1%	3,349		13,270	0.0%
經常剰余金	8,136,720	1.5%	△ 1,845,567	0.1%	501,960	1.9%
特別利益	2,170,100	0.4%	877,000	1.4%	8,177,000	0.1%
特別損失	10,175		14,161,068		2,738	0.0%
税引前当期剰余金	10,296,645	1.9%	△ 15,129,635		8,676,222	2.0%
法人税等	3,442,900	0.6%	472,600			1.1%
当期剰余金	6,853,745	1.2%	△ 15,602,235	1.5%	8,676,222	0.9%
当期首繰越金	79,224,895		55,034,561	10.6%	59,730,183	11.3%
医療福祉等事業積立金取崩額	0		0		0	
任意積立金	0		0		0	
当期未処理金	△ 63,783,051		△ 70,636,796		△ 55,034,561	

参考

過去3年キャッシュフロー計算書推移

東京葛飾医療生活協同組合

2019年度～2021年度

(単位:千円)

	2021年度実績	2020年度実績	2019年度実績
I. 事業活動によるキャッシュフロー			
当期純損益	6,853	△ 15,602	4,695
減価償却費等(+)	3,048	2,249	3,374
固定資産除却損等(+)	0	1,153	147
事業未収金償却費等(+)	0	3	0
非資金費用(+)	3,048	3,405	3,521
事業未収金増減額	△ 10,368	1,288	△ 3,319
棚卸資産増減額	433	△ 636	0
仕入債務増減額	1,014	△ 487	394
賞与・貸倒引当金増減額	0	0	0
その他流動資産増減額	66	△ 1,109	△ 49
その他流動負債増減額	2,731	715	△ 3,269
資産負債増減額	△ 6,124	△ 229	△ 6,243
退職給付引当金繰入額(+)	158,986	16,876	20,244
退職金支出額(-)	△ 153,700	△ 10,064	△ 15,830
退職金	5,286	6,812	4,414
支払利息計上額(+)	1,941	1,384	1,948
利息支払額(-)	△ 1,941	△ 1,384	△ 1,948
支払利息	0	0	0
法人税等および同調整額(+)	3,442	473	3,980
法人税等支出額(-)	△ 2,954	△ 1,003	△ 6,262
法人税等	488	△ 530	△ 2,282
事業活動によるキャッシュフロー	9,551	△ 6,144	4,105
II. 投資活動によるキャッシュフロー			
有形固定資産の取得による支出(-)	△ 1,905	△ 3,124	△ 2,860
有形固定資産の売却による収入(+)	0	0	0
無形固定資産の取得による支出(-)	△ 1,738	△ 2,707	0
無形固定資産の償却による収入(+)	0	67	0
その他固定資産の取得による支出(-)	0	△ 16	0
その他固定資産の償却による収入(+)	0	468	630
投資活動によるキャッシュフロー	△ 3,643	△ 5,312	△ 2,230
III. 財務活動によるキャッシュフロー			
短期借入金による収入(+)	0	0	0
短期借入金の返済による支出(-)	0	0	△ 9,000
長期借入金による収入(+)	0	100,000	80,000
長期借入金の返済による支出(-)	△ 88,364	△ 32,124	△ 62,780
特定協力借入金による収入(+)	0	0	0
特定協力借入金の返済による支出(-)	0	0	0
出資金増資による収入(+)	6,952	7,671	6,318
出資金減資による支出(-)	△ 9,056	△ 14,021	△ 17,977
受取寄付金による収入(+)	0	0	0
固定資産表示定期預金等の増減	61,200	△ 20,400	49,800
その他の収入・支出	0	0	0
財務活動によるキャッシュフロー	△ 29,268	41,126	46,361
IV. 現金および現金同等物の増減額	△ 23,360	29,670	48,236
V. 現金および現金同等物の期首残高	163,647	133,977	85,741
VI. 現金および現金同等物の期末残高	140,287	163,647	133,977

第2号議案 2022年度事業計画、予算決定の件

I 2022年度事業計画

葛生協の未来に向けて～中長期構想を作り出そう！

東京葛飾医療生活協同組合は、2022年2月に満50歳を迎えました。新たな50年に歩み出すため、組合員、職員、そして地域の方々・団体の夢を形にする中長期構想を作り出します。

I-1 医療生協活動の方針

(1) 医療生協運動の方針

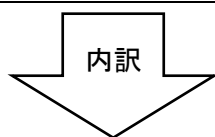
新型コロナウイルス感染症に対応した2年間。活動制限や運動制限により、ストレスの増大や体力低下など、こころや健康への影響が懸念されています。まさに医療生協が大切にする「健康」と「つながり」が必要だということが証明されました。この間の経験を基に、感染予防対策を講じながら、「健康」と「つながり」を大切にした“医療生協の輪”を拡げる活動を、組合員、職員、そして地域の方々・団体とともに展開しましょう！

2022年度の医療生協への新規加入目標は400名、出資金増（新規・増資含む）目標は10,000口とします。各支部では、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策を十分に行いながら、アイデアを出し合い、支部行事・班会などを企画していきましょう。

引き続き組合員の皆さんには、医療生協活動へのご参加、機関紙「健康のはぐるま」の手配り活動へのご協力をお願いいたします。

□新規加入者・出資金目標

	新規加入	出資金
2022年度目標	400名	10,000口



下千葉ブロック	篠原ブロック	金町ブロック	白鳥ブロック
115名	50名	145名	90名

□機関紙「健康のはぐるま」手配り状況

葛飾区内手配率 74.2% (3,406 通／4,588 通)

(協力者：人、手配数：通)

	下千葉	下千葉東	篠原	水元	金町東	金町南	白鳥	亀青
手配協力者	58	31	33	39	23	37	21	18
手配数	606	281	545	595	366	486	301	226

(2) 各委員会の方針

○組織活動

私たちは、葛生協の掲げる基本理念「医療・介護・保健予防を通して、誰もが安心して住み続けられる町づくり」、「平和憲法を守り、核兵器廃絶と戦争や暴力の無い社会」、「一人ひとりの人権が尊重される社会作り」をもって、地域から共同の輪を拓げるために活動しています。

特に、今日、ロシアによるウクライナへの残虐で犯罪的な軍事進攻により、世界平和にも懸念が広まるなか、共同の輪を広げる取組みが重要になっています。

葛生協は、将来に向けてその役割を発揮し続けるためにも、その主体である事業の基盤強化に向けて「中長期事業構想」の策定作業を開始しました。

今後、「構想」の成案策定から、具体的な実施計画へ、組織全体の知恵と力を結集し、計画全体を成功に導くために全力で取り組む必要があります。

<取り組み目標>

- ① 「中長期事業計画」に向けた検討を始めよう。
- ② ボランティア活動や新たなイベントで共同の輪を地域に広げよう。
- ③ 葛生協のネットワークと優位性を多くの人に語り、広めよう。
- ④ 組織体制の強化・継承へ、担い手増やしへ計画的に取り組もう。
- ⑤ 相談活動を重視し「困り事に対応する」支部組織を目指そう。
- ⑥ 医療生協の運動強化へ学習活動を強めよう。

○健康づくり活動

「マスク着用」の日常生活が 3 年目となりました。毎日の感染者数に一喜一憂していますが、4 回目のワクチン接種が予定されているようです。コロナ感染症の後遺症で日常生活に悩み、不安を抱えている方も多いと聞きます。一日も早い収束で、笑顔で元気な健康づくりの交流ができる事を願っています。昨年度の活動を基本に継続して計画したいと思います。

- ①健康づくり委員会の体制強化、委員会の定期開催を目指します。
- ②感染対策を継続し班会活動をすすめます。「楽しく健康長寿!」を目標に「カーレット」や「ボッチャ」、「血管年齢測定」等の有効活用をすすめます。
- ③健康チャレンジも 8 年目となります。前年度の教訓に学び創意工夫で参加人数を募っていきます。今年度の参加目標を 100 名とします。

○社保・平和活動

①「憲法改悪反対、9 条守れ」の取り組み

憲法改憲発議を許さないための署名や宣伝活動に取り組みます。毎月行われる、共同センターや 9 条の会・地域合同の宣伝活動に積極的に参加します。生協独自の学習会や駅頭宣伝・宣伝カーを使つての取り組みも計画します。

②75 歳以上の窓口負担 2 倍化反対

医療・介護の改悪に反対し、社会保障制度を守り充実させる取り組みを知らせる活動（宣伝行動）を積極的に行い、学習会なども計画します。消費税を 5%に戻させる取り組みを他団体と協力して行ないます。

③核兵器廃絶に向けた、平和活動の取り組み

各支部の平和の取り組みを支援していきます。広島・長崎が被爆して 77 年、いまだに大量の核兵器が存在しています。核兵器禁止条約に被爆国である日本が参加するよう運動を進めます。

* 平和行進、原水禁大会、平和の波行動に参加していきます。

* 9 月に平和活動の推進にむけて、「平和ツアー」を予定し計画を立てます。

④高齢者運動の取り組み

後期高齢者医療費窓口負担 2 割化に反対する取り組みを進めます。葛飾高齢者懇談会の活動に参加し、葛飾での高齢者運動に取り組みます。今年の「日本高齢者大会」は京都で開催予定です。参加できるように取り組みます。

⑤バレンタイン行動、健康ウォークなど、その他の取り組み

10 月に健康ウォーク、2 月にバレンタイン行動を予定します。他の団体とも協力して、地域での社保活動や平和活動に取り組みます

○地域助け合い活動

①ふきのとう在宅介護家族の会

新型コロナウイルス感染症の収束状況を見ながら実施を検討していきます。

②わがまち楽習会

葛飾区教育委員会に申し込みを行います。年度内に 3 回まで申し込みができるので、10 月と 3 月の開催予定として進めていきます。

○環境を守る活動

葛飾青空の会に結集して環境問題に取り組みます。ロシアのウクライナ侵略は「戦争は最大の公害」を端的に言い表しています。地球温暖化の進行からも二重三重に許されません。

大気汚染被害者の医療費助成制度創設をめざす責任裁定に力を注ぎます。健康のはぐるまに責任裁定の案内を 5,500 枚同封しました。他団体含めて 1 万枚送った中から 1 名の申請人が生まれました。公害調停の倍、およそ 130～140 名の申請人が予定されています。公害総行動（6 月 8 日交流集会）に複数名で参加します。署名活動、自転車ネットワークづくり、安全な自転車・歩行者道の確保に引き続き取り組みます。温暖化対策、No₂測定にも取り組みます。

I-2 事業活動の方針

(1) 方針と経常剰余金目標

新型コロナウイルス感染症拡大の影響は、未だ経営に大きな影響を及ぼしています。昨年度は新型コロナウイルスワクチン接種により、保健予防収益の大幅増を勝ち取りましたが、今後の接種は 60 歳以上の方と、それ以下の年齢では基礎疾患を持ち重症化の恐れのある方に限定されることもあり、昨年度のような収益は見込めません。①医療生協としての他医療機関・介護事業所との差別化を行い、「だれもが住み慣れたまちで安心して暮らせるためのお手伝い」を実践し、組合員を含めた地域の方々や団体に信頼される医療・介護活動を展開するという原点回帰に立ち返る、②自分たちの事業所が立てた予算を“全員でやりきる”ことにこだわる、③中長期構想を見据えて、診療所の黒字化・再編、介護事業所の体制強化を大胆に計画・実行する。

2022 年度は、この 3 つをスローガンに奮闘します。

○3 診療所の黒字化・再編に向けて

○ヘルパーステーション虹の輪の新規利用者の獲得および加算取得による黒字化

○訪問看護ステーションの大規模化

○介護事業所の新規地域への展開

○新規事業の検討

○職員の意識改革（昨年度からの継続目標）

◇3 つの力の育成 進むべき方向性を一致させる力

職員全員が同じように業務を遂行できる力

目標を断固としてやり抜く力

◇職員が葛生協や組合員・地域にどんな形で貢献できるかを自ら考え行動する

経常剰余金 3,000 万円の黒字目標

2022 年度事業所別経常剰余目標

(単位：千円)

事業所名	経常剰余金 目標	事業収益		
		予算	前期実績	前期増減
下千葉診療所	2,564	120,202	118,684	1,518
篠原診療所	672	111,993	97,126	14,867
金町診療所	7,584	149,612	142,264	7,348
ほりきり訪問看護ステーション	6,629	57,850	57,705	145
かなまち訪問看護ステーション	2,649	45,281	44,183	1,098
ヘルパーステーション虹の輪	4,700	45,269	37,585	7,684
居宅介護支援事業所「ほりきり」	5,603	47,040	52,126	▲5,086
本部事務局	0			
法人合計	30,403	577,249	549,674	27,575

中長期構想の実現に向けて、全事業所の黒字化を目指し、経常剰余金 3,000 万円を目指し奮闘します。

事業収益 5 億 7,724 万円、事業費用 5 億 4,546 万円、人件費 4 億 1,351 万円（人件費率 71.6%）です。

(2) 各事業所の方針

○下千葉診療所

引き続き、スタッフ全員でしっかり感染予防対策を行いながら、外来慢性疾患管理、健診業務そして在宅診療強化を進めます。2022 年度は診療単位が減りましたが、その分、外来慢性疾患管理の一つとして気になる患者さんへのアプローチ(電話かけ・訪問)などを充実させます。在宅診療強化としては地域の事業所への営業と介護職員との意見交換の場を設けます。保健予防活動や組織活動においても到達を意識し常に戦略を打ち出していくためにも、スタッフが自ら必要と感じるものへ自ら迅速に取り組むことが必要と考えます。スタッフ間での《報・連・相》の徹底と個人のレベルアップに取り組みます。

スタッフ一人ひとりが患者、患者家族、そして一緒に働く職員に一步寄り添う気持ちを心掛け、地域に無くてはならない診療所として認識してもらえるよう努力を継続していきます。

○篠原診療所

情報共有と知識・視野を広げるための研修・学習体制を強化し、安全と安心の医療活動を継続します。新型コロナ感染予防も引き続き徹底し、保健予防活動の拡充をすすめることで地域の健康を守るための努力をします。そして葛生協の利点でもある医療・看護・介護の連携力を存分に発揮し在宅医療を強化できるようにコミュニケーションを意識して活動します。2022年4月1日、所長医師が清水義人医師から清水基規医師に交代となりました。より一層、利用者の満足度向上にむけ職員一同尽力します。

○金町診療所

経営の改善・黒字の拡大を目指します。新型コロナ関連収益は前年度ほど見込めないと覚悟し、通常の外来・在宅・保健予防で黒字を達成できるように努力していきます。特に当診の収益の柱である在宅は単位増とさらに一段の増加をめざします。

自治体健診・土建健診に力を入れていきます。治療中断のチェックなど検査増に取り組みます。また、葛飾区新型コロナ関連事業に積極的に協力します。

施設の問題で発熱外来の設置は現状難しく、組合員・患者様にはご不便をおかけします。所長以下職員も大変心苦しいのですが、まずは診療所の日常診療の機能を守るという点を重視します。

大規模行事は開催が困難ですが「今」「小規模でも」「感染対策と両立して」できることを模索し組合員と協力して時代に即した形の活動実施をめざします。

職員のレベルアップのために医療生協などの基本学習に改めて取り組みます。

○ほりきり訪問看護ステーション

事業所の理念として「①笑顔と感謝で充実した日々を過ごす、②利用者と共に学び成長する」、事業所の方針として「報・連・相」を継続して掲げ、積極的に研修会などへ参加し、質の高い看護を提供できる事業所を目指します。引き続き、他事業所のケアマネとの信頼関係を築き、選んでもらえる事業所を目指します。

常勤看護師4名・非常勤看護師2名・リハビリ2名で安定した体制を維持し、剰余を継続的に生み出せる事業所となるよう奮闘します。2021年度介護報酬改定により、リハビリの訪問単価が減額されました。当ステーションはリハビリスタッフの力も大きいので、体制はそのままでも訪問回数を増やし収益を上げるための努力をしています。引き続き新型コロナウイルス感染予防対策に力を入れ、スタッフのモチベーションを高め、効率よく仕事ができるよう努力していきます。

かなまち訪問看護ステーション・ほりきり訪問看護ステーション双方の収益増を模索し、サテライト化を年度内に実施します。

○かなまち訪問看護ステーション

産休明けの非常勤看護師が復職してきて5人でのスタートとなります。

第7波は既にやっけてきています。予防を行いながら自分たちがかからない、注意し

すぎることはない、とスタッフ全員で確認をしながら訪問を行っていきます。

新規利用者の獲得に動きながら今年度立てた予算を達成できるようスタッフ全員で頑張っていきます。

○ヘルパーステーション虹の輪

引き続き、感染予防対策に力を入れながら安定した収益を得られるよう、特定事業所加算取得を目指し、職員全員で取り組んでいきたいと思ひます。

登録ヘルパーに関しては、今回2名が退職し、ヘルパーの年齢層も高く、今後新規利用者を獲得するにも人手不足で受け入れられなくなると予想されます。若い人材をどう増やして行くかも課題です。

○居宅介護支援事業所「ほりきり」

今年度はパソコンリース契約満期に伴い、入れ替えがあり、5月から新たにデスクトップからノート型にチェンジします。リモートでの作業や研修での活用でノート型パソコンを効率良く使用し、作業していく予定です。居宅介護支援ではなかなか難しいペーパーレス化を積極的に行うようにし、経費削減出来るよう努めたいと思ひます。

昨年度の法改正から、BCP（災害・感染症における業務継続化計画）の作成や高齢者虐待防止の推進のために、法人内の介護事業所で協力し、各担当を決めて2か月に1度それぞれ会議を開催し、協議を行っています。2年目になる今年度も各担当者は任務を遂行し、令和6年4月までにしっかり体制構築をしていきます。

今年度は主任介護支援専門員3名で、7→6名の職員体制でスタートしました。事業収益が減ることが予想されますが、昨年度に劣らない剰余が出せるよう努力します。特定事業所加算Iを継続し、月平均5名以上の新規獲得を目指します。特定加算取得の事業所として、法令遵守を徹底し、必要な研修や会議の充実、実習生の受け入れなど要件を満たすための条件をしっかり行っていきます。また一人ひとりのスキル向上を目指し、利用者、自治体、包括支援センター、関係事業所などから更に「安心して任せられる・信頼できる事業所」を構築していきたいと思ひます。今年度の仲間増やし目標を15名とし、医療生協活動にも積極的に協力していきたいと思ひます。

地域の中で在宅医療を継続してきた東京葛飾医療生協の強みを生かして、医療と介護の連携で、住み慣れた我が家で最後まで過ごしていけるよう、介護支援専門員としての仕事をしっかり行っていきます。

Ⅱ 2022年度予算案

東京葛飾医療生活協同組合

2022年度予算案

自2022年4月1日 至2023年3月31日

(単位:千円)

	2022年度予算	構成比	前年比	2021年度実績	構成比
[事業収益]	577,249	100.0	105.0	549,674	100.0
外来医療収益	179,792	31.1	93.9	191,549	34.8
在宅医療収益	135,788	23.5	114.9	118,206	21.5
保健予防活動収益	57,068	9.9	82.4	69,258	12.6
訪問医療収益	29,993				
その他医業収益	570	0.1	39.2	1,454	0.3
保険査定増減	△ 480	△ 0.1	96.2	△ 499	△ 0.1
[医業事業収益]	402,731	69.8	106.0	379,968	69.1
訪問サービス収益	118,408	20.5	107.8	109,812	20.0
その他介護収益	56,109	9.7	93.5	60,021	10.9
保健査定増減		0.0	0.0	△ 128	△ 0.0
[介護事業収益]	174,518	30.2	102.8	169,705	30.9
[事業費用]	545,466	94.5	100.4	543,258	98.8
[人件費]	413,519	71.6	101.6	407,176	74.1
役員報酬	10,836	1.9	102.8	10,536	1.9
職員給与	209,332	36.3	108.4	193,197	35.1
非常勤職員給与	107,947	18.7	91.8	117,597	21.4
出向人件費	204	0.0	56.2	363	0.1
賞与引当金繰入	31,836	5.5	104.7	30,396	5.5
法定福利費	46,080	8.0	111.3	41,416	7.5
退職給付引当金繰入	7,284	1.3	53.3	13,668	2.5
[材料費]	19,880	3.4	95.2	20,881	3.8
医薬品費	8,560	1.5	91.7	9,334	1.7
診療材料費	11,320	2.0	98.0	11,547	2.1
福祉材料費	0	0.0	0.0	0	0.0
医療消耗器具備品	0	0.0	0.0	0	0.0
[委託費]	27,730	4.8	100.2	27,668	5.0
検査委託費	20,653	3.6	104.0	19,868	3.6
清掃委託費	4,307	0.7	96.6	4,457	0.8
保守委託費	2,769	0.5	82.9	3,342	0.6
[経費]	70,134	12.1	100.4	69,834	12.7
[リース料]	10,872	1.9	74.2	14,649	2.7
[減価償却費]	33,330	5.8	1,093.5	3,048	0.6
[事業剰余金]	31,783	5.5	495.4	6,416	1.2
[事業外収益]	0	0.0	0.0	4,172	0.8
[事業外費用]	1,380	0.2	56.3	2,452	0.4
[経常剰余金]	30,403	5.3	-	8,136	1.5
[特別利益]	0	0.0	0.0	2,170	0.4
[特別損失]	0	0.0	0.0	10	0.0
[税引前当期剰余金]	30,403	5.3	-	10,296	1.9

東京葛飾医療生活協同組合

2022年度経費予算明細

自2022年4月1日 至2023年3月31日

単位 千円

科 目	予 算	前期実績	増 減
職員被服費	1,729	1,799	△ 70
旅費交通費	276	12	264
厚生費	2,193	2,177	16
通信費	4,532	4,984	△ 452
渉外費	12	46	△ 34
地代・家賃	20,996	20,713	283
保険料	477	831	△ 354
修繕費	674	489	185
水道光熱費	3,905	4,183	△ 278
車両運搬費	649	528	121
消耗品費	3,856	3,703	153
事務費	0	0	0
委託費	3,925	4,147	△ 222
採用費	1,632	5,552	△ 3,920
租税公課	7,060	4,995	2,065
繰延消費税償却	0	29	△ 29
諸会費	7,432	7,306	126
研究研修費	339	299	40
教育文化費	4,012	2,397	1,615
会議費	900	141	759
衛生費	2,663	3,725	△ 1,062
貸倒引当金	600	620	△ 20
雑費	1,060	66	994
一括資産償却費	1,212	1,092	120
経費合計	70,134	69,834	300

2022年度 キャッシュフロー予算書

東京葛飾医療生活協同組合

自2022年4月1日 至2023年3月31日

単位:千円

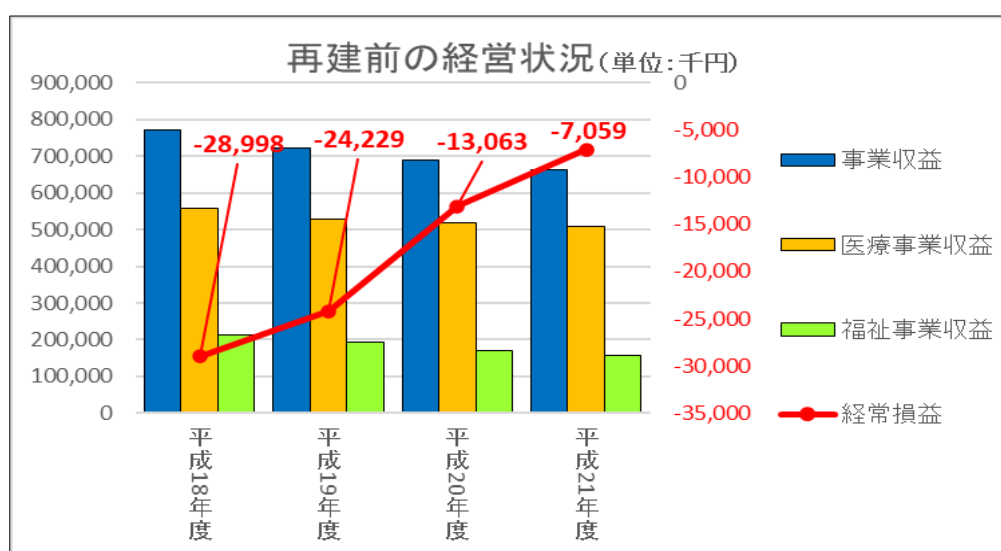
当期純損益	63,783
減価償却費等(+)	3,330
固定資産除却損等(+)	
医業未収金償却費等(+)	
非資金費用(+)	3,330
事業未収金増減額	272
棚卸資産増減額	136
仕入債務増減額	480
賞与・貸倒引当金増減額	0
その他流動資産増減額	△ 79,119
その他流動負債増減額	526
資産負債増減額	△ 77,705
退職給付引当金繰入額(+)	166,270
退職金支出額(-)	△ 166,270
退職金	0
支払利息計上額(+)	1,200
利息支払額(-)	△ 1,200
支払利息	0
法人税等および同調整額(+)	
法人税等支出額(-)	1,558
法人税等	1,558
他のキャッシュフローへの振替額(-)	
I. 事業活動によるキャッシュフロー	△ 9,034
(事業収益対比率)	-1.5%
有形固定資産の取得による支出(-)	△ 1,905
有形固定資産の売却による収入(+)	0
無形固定資産の取得による支出(-)	△ 1,738
無形固定資産の償却による収入(+)	
リース料支払による支出(-)	
その他固定資産の取得による支出(-)	
その他固定資産の償却による収入(+)	0
II. 投資活動によるキャッシュフロー	△ 3,643
本支店勘定による増減	
出資金増資による収入(+)	6,952
出資金減資による支出(-)	△ 6,380
地域協同基金による収入(+)	
地域協同基金の返還による支出(-)	
特定協力借入金による収入(+)	
特定協力借入金の返済による支出(-)	
短期借入金による収入(+)	
短期借入金の返済による支出(-)	
長期借入金による収入(+)	
長期借入金の返済による支出(-)	△ 29,783
受取寄付金による収入(+)	
設備補助金による収入(+)	
固定資産表示定期預金等の増減	
その他の収入・支出	△ 12,000
III. 財務活動によるキャッシュフロー	△ 41,211
IV. 現金および現金同等物の増減額	△ 53,888
V. 現金および現金同等物の期首残高	140,287
VI. 現金および現金同等物の期末残高	86,399

第3号議案 中長期構想（案）

今回の構想(案)では、今までの推移、現在の状況、今後の予想や第1次中長期構想の総括を中心に行っております。今後、組合員の皆様のご意見を集約し、さらに豊かな中長期構想にしていきたいと考えております。

はじめに

葛飾医療生協はかつての平成18(2007)年度から平成21年度の4年間で7,300万円以上の経常赤字、2010年度決算では累積赤字2億6,790万円を計上するなど危機的な経営状況に陥りました。2011年6月19日に行われた第40回通常総代会の第1号議案は、日本生協連医療部会(当時)から経営破綻回避の緊急対策を講じるべしとの指摘を受け、東京都生協連、東京民医連に対し経営支援の要請を行い、その後それぞれの団体からの支援と指摘を受け、緊急経営対策を講じてきたことが明記されています。そして2011年1月26日「葛生協再建を成功させるために」の方針の下、再建の取り組みを進めてきました。



2011年1月26日「葛生協再建を成功させるために」の方針

経営危機の総括では、医療情勢の変化に医療活動が対応できていなかったこと、予算をやりきる決意と指導力の欠如、医療生協、東京民医連、監事からの指摘を生かせなかったこと、全国の医療部会の方針を実践できなかったことの4点を総括し、2011年度を再建初年度と位置づけ、全国や東京の先進的取り組み・教訓を学び、理事会の責任を明確にして、経営危機の打開の方針として、収益確保と費用削減による経常黒字と資金の確保、全職員の創意・工夫による業務改善、職員と組合員協同による地域から信頼される組織づくりの方針を打ち出し取り組んできました。

葛飾医療生協は以上の過去の経営危機、それ以降の取り組みの総括を行った上で、次の5年間の経営面での取り組みについて中期経営計画を策定しました。この計画の実践によって葛飾医療生協の次の発展の礎を築いてまいりたいと思います。

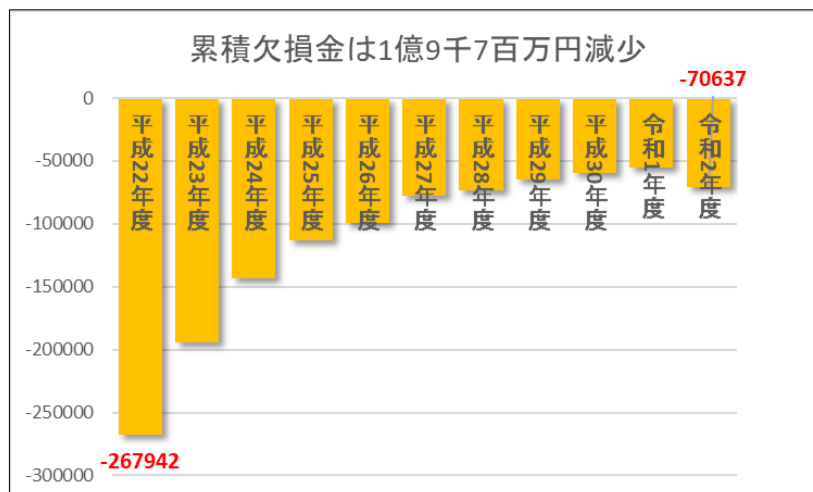
1. 2011年度からの10年の取り組み

ここでは2011年度(2011年4月から2012年3月)からの取り組みの総括を行います。従いまして2013年6月29日の第42回総代会で決定した「第一次中長期事業構想・経営再建10か年計画」(以下「一次長計」という)及び2015年5月27日理事会で決定し2015年6月28日総代会で承認した「下千葉診療所リニューアル計画検討状況(中間報告)」(以下「旧構想」という)も総括の対象にします。

(1) 葛飾医療生協の10年間の利益構造の推移

① 経営危機克服は未だ途上

一次長計でかかげた累積赤字はこの10年で約1億9千7百万円を減少させました。これは生協組合員、役職員の奮闘による結果であり高く評価されるべきものです。同時に累積赤字の解消はまだ、達成できておらず、一次長計の累積赤字解消の課題は未達にとどまりました。その要因は为什么呢。



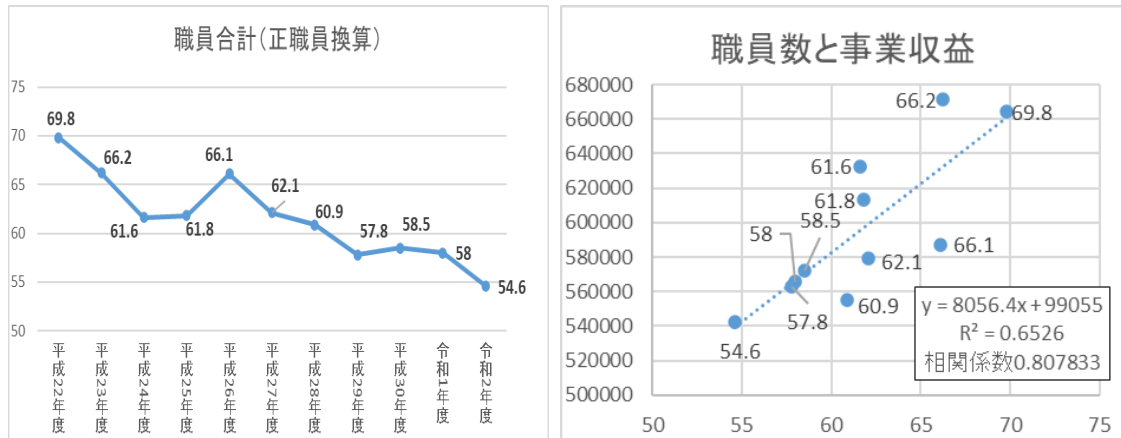
○事業所別の院所管理の仕組みが未確立

一つは「全役職員が一丸となって経営を守り抜く」上での前提である、経営データは本部一括処理となっていて、各事務長、所長が毎月の経営実績や予測実績から打つべき手立てを明確にして手立てを打つ、という事業所別の院所管理の仕組みが未確立であったことにあります。本部の一部幹部は全体像を把握できていても、各事務長や院所幹部、職員が自分の事業所の損益管理ができていなかったことによります。

○平成22年度から今年度まで約15人、28%の人員減

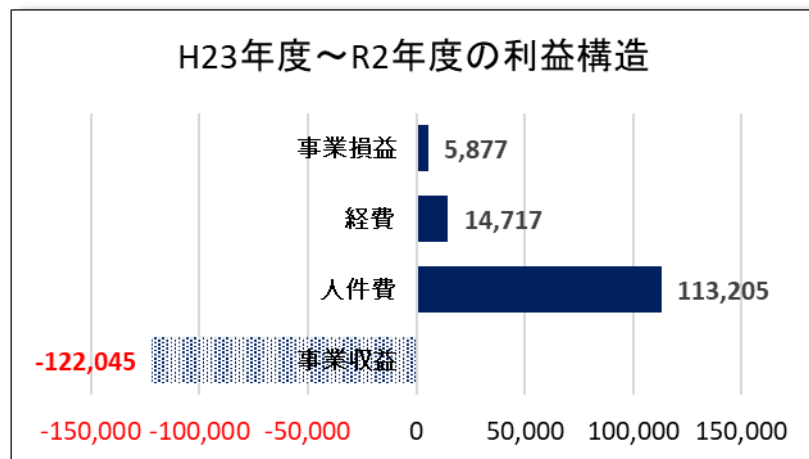
また、労働集約型である医療・介護事業は労働力に頼る事業であり、人員と収益は相関があり、人が減ると収益も減るという傾向があり、葛飾医療生協の場合もその相関係数は0.807で高い相関があります。平成22年度から今年度まで約15人、28%の人員を減らしたことで、収益は大幅に減少しています。より根本的には

医師確保に一定のお金をかけて業者や生協の医師確保の対策を行いました。効果が不十分でした。また、少ない人数で様々な業務をこなさざるを得ないため、慢患対策、新患対策、健診などの営業などに十分人を割けず、数字の目標は掲げられますが、その裏付けとしての対策や実践体制が不十分で、結果として収益減少につながったと考えられます。この状況は現状も推移しており、全体を指揮する本部の活動も大きな制約があります。



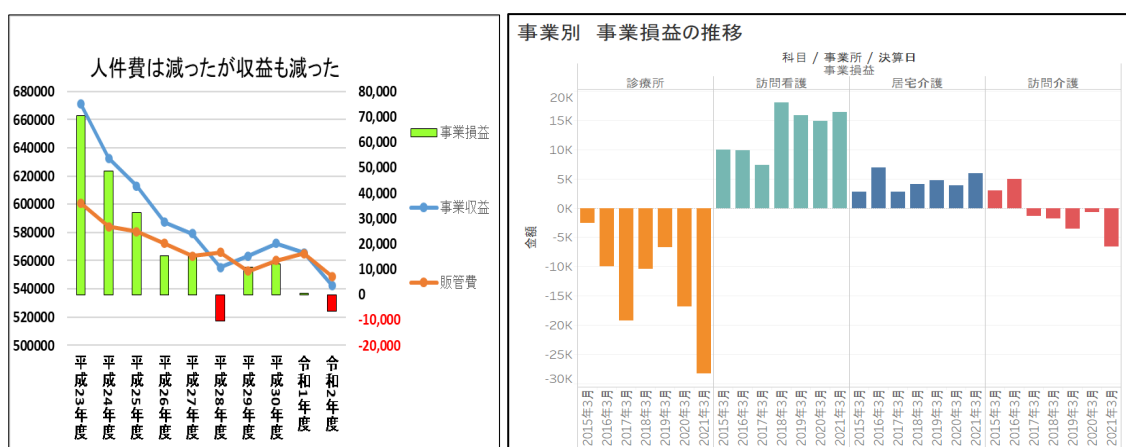
②経営危機は回避するものの収益も大幅に減少

葛飾医療生協の経営危機以降の10年間の利益構造を分析しました。事業収益の前年度と当年度の差分の合計は1億2,205万円の減少、同時期、人件費も1億1,320万円減少、経費は1,472千円減少、事業損益は588万円の増加でした。つまり、事業収益が大幅に減少した中で、毎年588万円の利益を伸ばしてきましたが、その要因は主に人件費の削減によったことがその要因であり、先ほどの分析を裏付けづける結果となっています。



○費用削減型の黒字

しかし、経営危機に直面し、役職員あげて費用削減により、危機を乗り切ってきたことは、重要な点で、この点は前進面としてしっかり評価すべき点です。同時に、収益も大幅に減少している減収増益型の黒字、すなわち費用削減型の黒字であったことを直視しなければなりません。費用の削減には限度があります。例えば人件費を削減すといってもゼロにすることはできないため、費用削減は必ず先細ります。そうした中、設備の更新などの投資を含む、次の一手が打たれない状況のまま経過していることを直視しなければなりません。また、生協組合員や出資金も長期減少傾向にあり、地域に根差した医療生協として問われている状況にあります。



○実施計画が伴わなかった旧計画

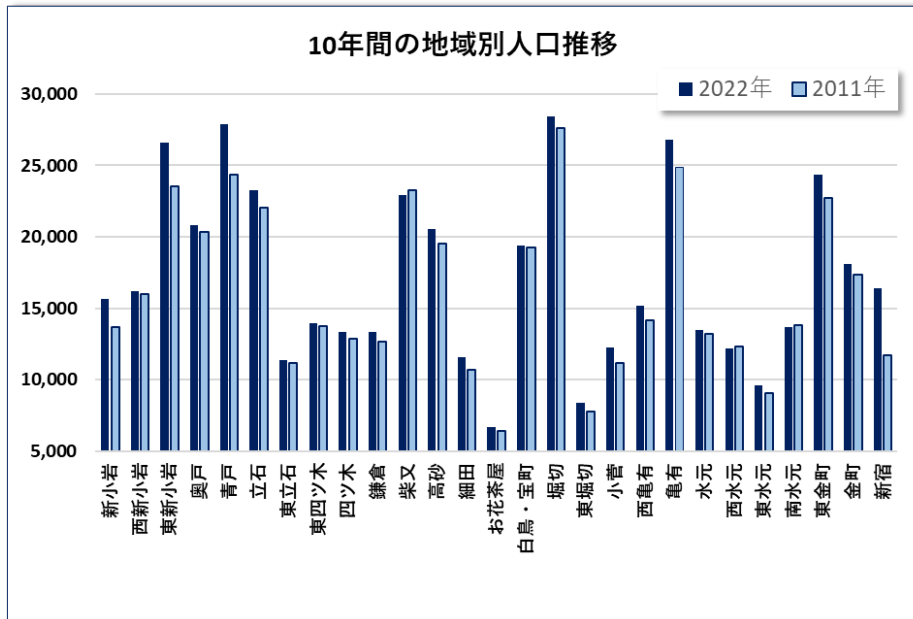
もちろん 2015 年に旧構想が打ち出されましたが、実施計画まで至らなかったため、実践されませんでした。また 2019 年には事務長会議や事業所単位での討議など中期計画の葛飾医療生協あげての検討をしてきましたが、コロナでストップしました。

③診療所経営の建直しは急務

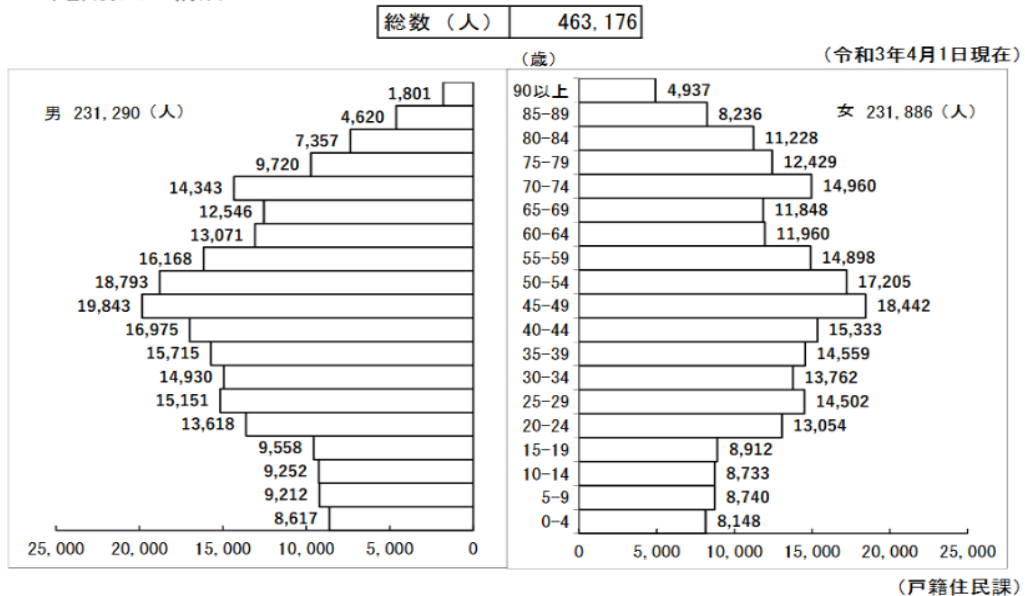
特に、診療所部門と介護部門では訪問介護事業の立て直しは急務です。表は平成 26 年度(2015 年 3 月)～令和 2 年度(2021 年 3 月)決算期までの年度ごとの事業損益の推移です。診療所群は一貫して事業赤字が継続し、近年では訪問介護事業の赤字が継続しており、この状況を打開しなければなりません。

④地域に根をはった生協組織の拡大も急がれている

葛飾区の人口はこの 10 年間で 43 万 5 千人から 46 万 2 千人へと、約 2 万 7 千人が増加しています。地域別には下図の通り東新小岩、青戸、東金町が大きく増加しています。年齢構成は次頁の通り 10 代の若年層の減少が著しい状況にあります。こうした中で当生協の組合員、出資金は長期的に見て減少傾向にあります。



4 年齢別人口構成

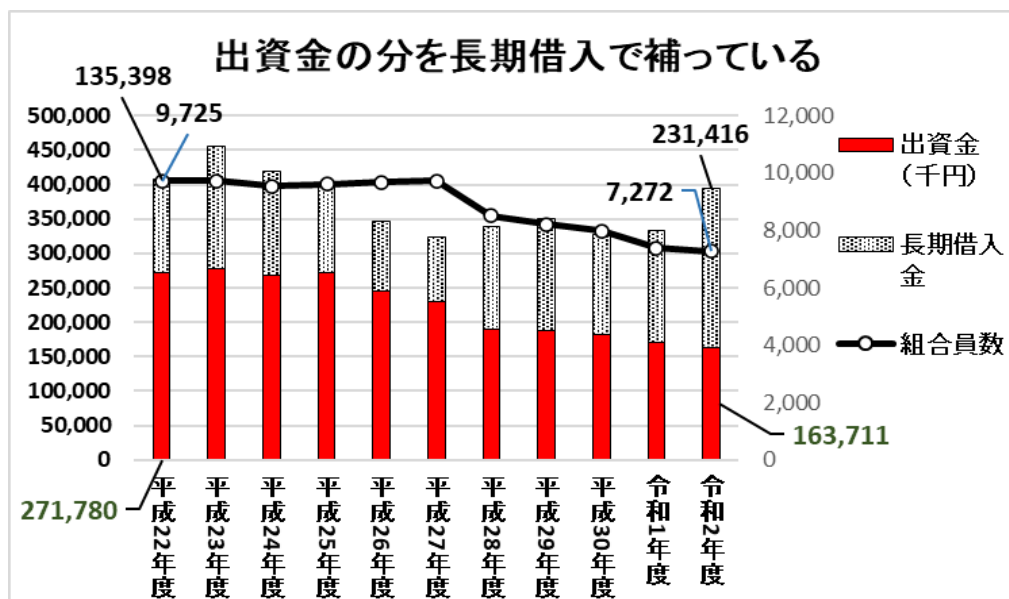


(2) 旧構想について

① 累積赤字解消を優先すると医療情勢の変化に対応できない

旧構想は「累積赤字解消を優先し」解消した上で旧構想を実施するとしています。しかし、一方で、経営危機の総括にある「医療情勢の変化に医療活動が対応できていない」ことへの対応は益々遅れることとなります。累積赤字は現在の組合員の債権を棄損している(令和2年度決算では、出資総額163,711千円に対し、生協の純資産額は93,074千円であり、仮に全組合員が出資金を返せといわれても約7千万円不足している状況にある)という点では大きな問題なのですが、提案している中期計画の実践で黒字を確保し、累積赤字解消を早める選択肢も検討する必要があると考えています。現状は累積赤字分と減少している出資金を、長期借入

金を増やして補っているという状況にあります。出資金と長期借入金の比率は変化していますが、その合計は概ね4億円で推移しています。



②旧構想は内容の点でも見直しが必要

旧構想を総代会で決定してから、診療報酬改定が4回、介護報酬改定3回の改定があり、医療・介護のしくみは大きく変貌しており、旧構想は内容の点からいっても、時代にそぐわない内容もあり、全面的な見直しが求められています。この際、中期構想として新たな提案を行うことにしました。

2. 中期計画の提案内容

(1)中期計画策定までの経緯

中期構想計画は東京葛飾医療生協の組合員、職員が自分たちの計画として主体性を持って取り組むことが不可欠の前提との立場から、2018年に理事会で確認し、事業所ごとの職員討議を開始しました。今後策定する中期構想計画が全組合員・全職員が「自分たちの計画」として主体的に取り組めること、そして局面を打開できるにふさわしい内容とするため、以下の3点の内容で検討を開始しました。

- ①理事会の下に中期医療介護構想委員会を置く
- ②下千葉、篠原、金町、白鳥の各ブロックに、医師、職員、生協役員の代表からなる構想小委員会を立ち上げる
- ③全体の委員会は各ブロックの小委員会代表と本部メンバーで構成し、各ブロックの構想を含めた全体構想を検討する

はじめに全所長・事務長会議を行い、理事長から中長期構想とはなにか、今後の進め方などのガイダンスを行いました。その後各部ブロックごとの討議が開始されました。

こうした中で、取り組みの濃淡はありますが、訪問看護、訪問介護の職場では今後のみずからの事業所の将来像を検討し、各事業所ごとのSWOT分析表が提出されました。

(2)現状分析

①内外環境分析(SWOT分析)

【医療】

強み:Strength	弱み:Weakness
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 医療から介護まで一貫したサービスを提供 ✓ 医療生協組織による地域からの信頼 ✓ 在宅支援診療の実績 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 経営基盤がぜい弱 ✓ 診療所、訪問介護が赤字 ✓ 事業所の分散化による非効率な運営 ✓ 職員・生協組合員の高齢化 ✓ SNSなどの発信力が弱い ✓ 発熱外来などに対応できない設備構造
機会:Opportunity	脅威:Threat
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 高齢者層の増加 ✓ 新型コロナウイルス感染症の広がり ✓ 金町地域の再開発、理科大の存在 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 医師確保の困難性 ✓ 地域に競合の在宅支援診療所の進出 ✓ 診療報酬のマイナス改定

※ 強み:Strength 弱み:Weakness(内部環境分析)

機会:Opportunity 脅威:Threat(外部環境分析)

の頭文字をとって名づけられたマーケティングのフレームワークです。

【医療事業など全体】 ※全体でブラッシュアップ

【介護】※全体でブラッシュアップ

強み:Strength	弱み:Weakness
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 医療から介護まで一貫したサービスを提供 ✓ 医療生協組織による地域からの信頼(親切丁寧、紹介患者を断らないなど) ✓ 看取りなど専門性と高い技術力 ✓ 医療機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 経営基盤がぜい弱 ✓ 診療所、訪問介護が赤字 ✓ システム化の遅れ
機会:Opportunity	脅威:Threat
<ul style="list-style-type: none"> ✓ 介護だけでなく医療ニーズの増加 	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 競合の参入 ✓ 担い手の高齢化と世代交代による人手不足

(3)進むべき方向性

内外環境分析、一次長計の総括を踏まえた方向性は、

- ①社会における医療・介護のニーズを踏まえた、取り組みを展開する
- ②これまでの生協組合員だけでなく、新たな組合員を獲得できる地域に魅力的な生協の拠点、特に魅力的な診療所を立ち上げる
- ③持続可能な経営が成り立つ収益構造の転換を図る

(4)第2次中長期計画

【全体構想】

- ①医療・介護構想(医師、事務系で検討) ※専務担当
医師の理事就任、医局会議(検討)
- ②生協組合員・出資金拡大、生協活動の充実(社保担当を置いて検討)
- ③人財確保
医師、レントゲン技師、看護師、ケアマネ、介護福祉士等、スタッフの計画的な確保
- ④施設展開<3つの案>
A 案 金町診療所の移転・拡大
B 案 篠原診療所、本部等の新築移転(本部機能集約)
C 案 下千葉診療所の移転・機能検討と新篠原診療所との連携強化
- ⑤機器・設備充実(医療・介護構想との関係で各事務長検討)
レントゲン、CT、超音波診断装置(カラー)、内視鏡、骨密度、心電図、画像保存通信システム(PACS)、画像サーバ(DICOM)、電子カルテ・レセ、遠隔診療、グループウェアなどを求められる医療に即して選定
- ⑥診療所の地域性にあつた診療日・診療時間(要検討 全体会議の時間の保障)
曜日、時間などの検討

【ソフト戦略】(要検討)

- ① 地域に信頼され、魅力ある生協活動の取り組みと生協組合員の拡大
 - 地域の方々が気軽に相談できる事業所づくり
 - 新しい分野への展開(要検討)
 - 子ども塾(低学歴は貧困化の温床)
 - 子ども食堂
 - たまり場の整備
 - 土建葛飾、民商葛飾等との連携強化
 - ※夜間診療がないと若い層は取り込めない
- ②生協理事、職員などの後継者づくり
 - 理事向け研修
 - 支部委員の補充

○計画的な職員育成

※人数が少ない職場では、異動もままならず後継者づくりは難しい

③組織担当理事(常勤・社保担当兼任)の設置

○法人としての対応部署の確立

○社保協との連携強化

④ホームページの充実と週1回の更新

○組合員のページの充実

【ハード戦略】

①2022年10月～(案)拠点事業所をA案(金町)もしくはB案(篠原)にする。(検討中)

A案 金町診の移転 再開発や理科大のある金町は成長性がある
(別紙資料参照)

B案 篠原診の建替 篠原に本部機能を全て集約し費用削減を図る

C案 下千葉を外来専門の診療所にする。組合員の集まる場所は確保する。検査などの場合は、下千葉地域から篠原迄はマイクロバスで移送予定。

※在宅を篠原に集約することで黒字化は可能か。

②2023年10月～ 新下千葉診療所+下千葉センター

③2025年10月～ 診療所移転

④具体的な計画

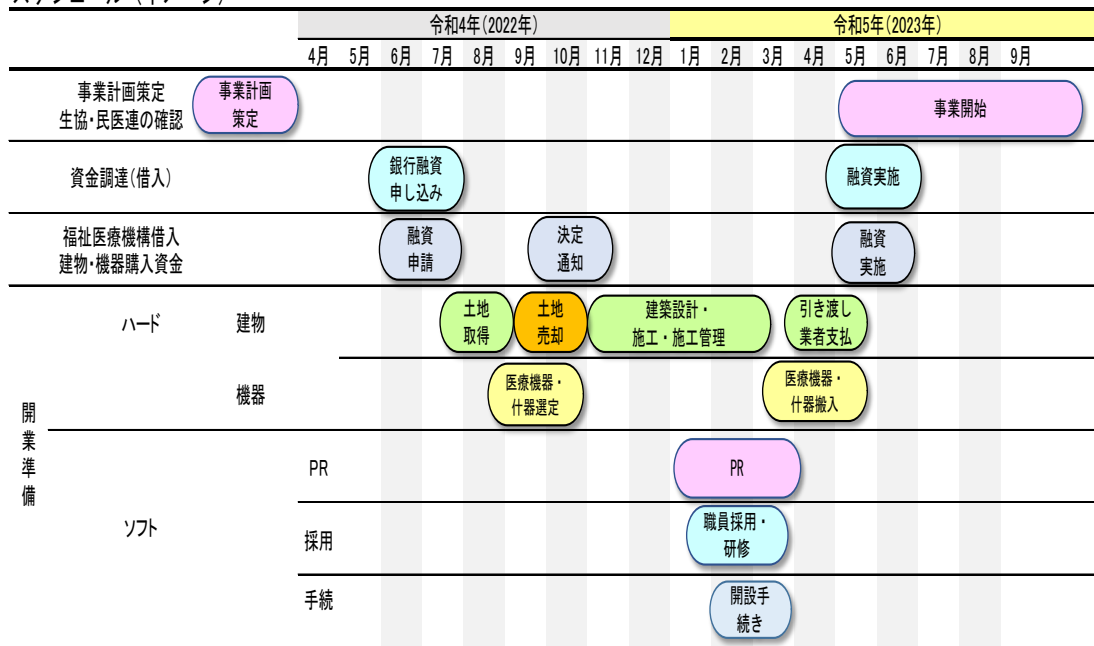
【投資規模】新篠原のみで5億1千万円…仮置き(拠点を篠原にした場合)

①篠原移転建替(土地売却+新土地買収)②下千葉移転(売却後賃貸) ③金町・金町訪看移転 建築を20年償還で考えると					
	項目	単価(千円)	m ²	価格(千円)	備考
R4	新本部・篠原土地(28万円/m ²)	280	500	140,000	土地DATA、現400m ²
R4	建築費(365千円/m ²)	300	900	270,000	福祉医療機構
R4	篠原土地売却	280	210	-58,800	
R5	下千葉土地売却	280	394	-110,320	
R4	設備			100,000	
R5	下千葉内装			20,000	
R5	下千葉設備			20,000	
R7	金町内装			20,000	
R7	金町設備			30,000	
R4-7	諸費用			20,000	
年間	利息		1.8%	4,264	
	合計			455,144	
	返済原資				
	減価償却(R4年)		7年間	23,286	篠原のみ(7年償却)
	本部家賃			5,728	
	金町訪看家賃			2,203	
	収益増(20,000千円/年)		篠原	14,400	現在120,308千円/年(+12%)
	収益増(10,000千円/年)		金町	13,600	現在136,582千円/年(+10%)
	合計			59,217	

仮に新篠原診療所を作った場合【20年間の返済計画】

利率		1.8%						
	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目			
借入残高	451,200	428,640	406,080	383,520	360,960	利息 小計①	元本返済 112,800	
年間返済額	22,560	22,560	22,560	22,560	22,560			
年間利息負担	8,122	7,716	7,309	6,903	6,497			
	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目			
借入残高	338,400	315,840	293,280	270,720	248,160	利息返済 小計②	元本返済 112,800	
年間返済額	22,560	22,560	22,560	22,560	22,560			
年間利息負担	6,091	5,685	5,279	4,873	4,467			
	11年目	12年目	13年目	14年目	15年目			
借入残高	225,600	203,040	180,480	157,920	135,360	利息返済 小計③	元本返済 112,800	
年間返済額	22,560	22,560	22,560	22,560	22,560			
年間利息負担	4,061	3,655	3,249	2,843	2,436			
	16年目	17年目	18年目	19年目	20年目			
借入残高	112,800	90,240	67,680	45,120	22,560	利息返済 小計④	元本返済 112,800	
年間返済額	22,560	22,560	22,560	22,560	22,560			
年間利息負担	2,030	1,624	1,218	812	406			
	合計					85,277	451,200	

スケジュール (イメージ)



以上

【金町再開発 資料】

WEB サイトより

(<https://www.watch.impress.co.jp/docs/news/1324903.html>)

JR 金町駅北口再開発は 40 階建て複合施設。教習所も



完成予想図

三菱地所、三菱地所レジデンス、三井不動産レジデンシャルは、JR 金町駅北口の西側に位置する約 3.0ha のエリアで推進する再開発事業における、再開発組合を設立した。2022 年度に商業棟着工、2025 年度竣工、2026 年度に商業棟・住宅棟着工、2030 年度竣工予定。

「東金町一丁目西地区第一種市街地再開発事業」として進められているプロジェクト。4 月 28 日に市街地再開発組合設立について東京都の認可を受け、5 月 14 日に総会を経て、再開発組合を設立した。

地上 40 階建ての超高層マンション、商業施設、業務施設(自動車教習所)、公益施設等で構成。あわせて同エリアに面している理科大学通りの歩行空間を整備する。



2022年度に着工する「第Ⅰ期」では、店舗、自動車教習所、公共駐輪場、施設駐車場を整備。規模は地上5階・地下2階で、高さ30m。2026年度に着工する「第Ⅱ期」では、店舗、公益施設、住宅、住宅棟店舗、施設駐車場を整備。商業・公益施設棟と住宅棟の2棟で、規模は商業・公益施設棟が地上4階・地下2階、高さ30m、住宅棟が地上40階・地下2階、高さ150m。マンションの戸数は約860戸。

同エリアでは、低未利用地が目立つほか、築年数を経た建物が密集し、また歩道が狭いなど、災害時を含めた安全性確保が課題となっているという。再開発事業を通じて、地域の活性化や都市機能の向上、防災機能の強化を図る。

金町駅周辺におけるまちづくりの状況



プロジェクトの位置づけ

所在地は、東京都葛飾区東金町一丁目 2136 番 53 他。延べ床面積は約 171,250 m²

第4号議案 役員選任の件

現役員（理事26名・監事4名）は、本通常総代会終了と同時に任期満了となります。

つきましては、規定に則り選出された第51期および第52期の役員（理事26名・監事4名）を選任いたしたく、その候補者は下記のとおりです。

なお、役員任期は第53回通常総代会において次期役員が選任されるまでの2年間となります。

□役員候補者(理事26名・監事4名)

候補者番号	役員区分	再任 新任	常勤 非常勤	氏名	生年月日	現在の当法人における地位・担当
1	理事	再任	非常勤	阿部千代子	1942/03/28	健康づくり委員、水元支部運営委員
2	理事	再任	常勤	石川直子	1970/07/24	篠原診療所事務長、事業所利用委員
3	理事	再任	非常勤	石島安夫	1953/01/09	社保・平和委員、水元支部運営委員
4	理事	再任	非常勤	岩田勲之	1945/03/19	社保・平和委員長、金町支部運営委員
5	理事	再任	非常勤	折笠つとむ	1952/08/04	理事長（代表理事）
6	理事	再任	非常勤	菅野勝祐	1944/11/20	社保・平和委員、金町南支部運営委員
7	理事	再任	常勤	菅野ゆたか	1975/08/12	金町診療所事務長、事業所利用委員
8	理事	再任	非常勤	久保えい	1944/08/12	健康づくり委員、「健康のはるぐま」編集委員、白鳥支部運営委員
9	理事	新任	非常勤	斎藤ひろ	1949/12/25	下千葉東支部運営委員
10	理事	再任	非常勤	寒河江のり	1953/02/26	常務理事、亀青支部運営委員、「健康のはるぐま」編集委員長
11	理事	再任	非常勤	佐々木まさ	1947/01/24	常務理事、健康づくり委員、事業所利用委員、「健康のはるぐま」編集委員、水元支部運営委員
12	理事	新任	常勤	清水もと	1982/10/09	篠原診療所所長
13	理事	再任	常勤	鈴木かず	1974/06/25	ほりきり訪問看護ステーション所長、健康づくり委員
14	理事	再任	非常勤	鈴木心	1945/08/26	社保・平和委員、金町南支部
15	理事	新任	常勤	鈴木瑞史	1966/08/08	金町診療所所長
16	理事	再任	非常勤	関川ふゆ	1951/01/01	社保・平和委員、健康づくり委員、白鳥支部長
17	理事	再任	非常勤	高橋しん	1943/02/01	文化レクリエーション委員、白鳥支部運営委員
18	理事	再任	非常勤	高柳ゆみ	1949/09/10	常務理事 健康づくり委員長、事業所利用委員
19	理事	再任	非常勤	田原よし	1946/05/01	文化レクリエーション委員、水元支部運営委員
20	理事	再任	非常勤	中村はつ	1944/03/11	常務理事 地域活動委員長、水元支部長
21	理事	再任	非常勤	南部かず	1951/05/24	地域活動委員、水元支部運営委員
22	理事	再任	非常勤	西川しょう	1948/01/02	「健康のはるぐま」編集委員、下千葉支部長
23	理事	再任	非常勤	萩原さ	1950/07/27	元葛生協職員 地域活動委員、文化レクリエーション委員
24	理事	再任	非常勤	間根山まさ	1941/07/02	亀青支部長
25	理事	再任	常勤	矢島わたる	1970/04/15	専務理事（代表理事）
26	理事	再任	常勤	渡邊あい	1979/12/29	下千葉診療所事務長、事業所利用委員
27	監事	新任	非常勤	小松のぶ	1942/12/10	金町南支部運営委員
28	監事	再任	非常勤	齋藤よう	1966/05/08	東京保健生協副専務理事
29	監事	再任	非常勤	佐々木な	1973/08/28	健和会四ツ木診療所事務長
30	監事	再任	非常勤	入月たか	1952/04/20	元葛生協職員、「健康のはるぐま」編集委員

■五十音順、地位・担当は2022年4月末現在

第5号議案 議案決議効力発生の特

[1] 提案の趣旨

総大会の議決事項は、監督官庁への書類による届け出が必要です。監督官庁への届出の際、議決内容の趣旨を損なわない範囲での、字句上の訂正が発生する場合に備えて、議決を行います。

[2] 提案の内容

議案の決議の趣旨に反しない範囲での字句などの修正を理事会に一任します。

2021年度 班会開催一覧

開催数 参加人数

ブロック	支部	班名	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計							
下千葉	下千葉	1.歩こう会													0							
		2.お茶飲み会														0						
		支部合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
下千葉東	下千葉東	1.歌の広場							1	9	1	8	3		2							
		2.お楽しみ会							1	10	1	1	6		2							
		3.折り紙教室								1	10	1	1	6	1							
		支部合計	0	0	0	0	0	0	1	19	1	8	3	1	5							
篠原	篠原	1.四葉のクローバー													0							
		2.ぶくろの会													0							
		3.しよぶ班													0							
		4.はつらつ体操班													0							
		支部合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
水元	水元	1.おしゃべり班													0							
		2.南水元班													0							
		3.おさんぽ班													0							
		支部合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
金町東	金町東	1.お茶のみ会													0							
		2.こまち班													0							
		支部合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0						
金町南	金町南	1.歩こう会												1	4							
		2.お楽しみ班会													0							
		3.おしゃべり班													0							
		支部合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	1							
白鳥	白鳥	1.民商白鳥班													0							
		2.ひまわり班													0							
		3.おさんぽ班													0							
		4.おしゃべり班													0							
		支部合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							
亀青	亀青	1.青戸団地班	1	8					1	8	1	9			3							
		2.青戸さくら班													0							
		3.亀有班													0							
		支部合計	1	8	0	0	0	0	1	8	0	1	9	0	3							
総 合 計			1	8	0	0	0	0	2	18	1	9	2	17	1	3	1	6	1	4	9	65

組合員地域分布（2022年3月31日現在）

支部	町名	組合員数	世帯数	割合
下千葉支部	小菅	129	7,059	1.83
	西亀有	130	7,839	1.66
	堀切4・6～8	634	6,378	9.94
	合計	893	21,276	4.20
下千葉東支部	東堀切1～2	268	3,064	8.75
	堀切5	75	1,741	4.31
	合計	343	4,805	7.14
篠原支部	堀切1～3	389	7,335	5.30
	白鳥1	30	652	4.60
	四つ木	557	7,057	7.89
	東四つ木	38	7,432	0.51
	宝町	137	3,908	3.51
	合計	1,151	26,384	4.36
水元支部	新宿6	107	2,310	4.63
	水元	162	6,168	2.63
	東水元3～6	59	2,281	2.59
	西水元	144	5,674	2.54
	南水元	410	6,445	6.36
	合計	882	22,878	3.86
金町南支部	金町	237	9,990	2.37
	鎌倉	27	6,890	0.39
	柴又	89	11,654	0.76
	高砂	85	11,334	0.75
	新宿1～5	122	5,374	2.27
	細田	16	5,590	0.29
	合計	576	50,832	1.13
金町東支部	東金町	507	12,668	4.00
	東水元1～2	56	2,080	2.69
	合計	563	14,748	3.82
白鳥支部	お花茶屋	157	3,715	4.23
	東堀切3	79	1,029	7.68
	白鳥2～4	148	5,480	2.70
	合計	384	10,224	3.76
亀青支部	亀有	164	14,355	1.14
	青戸	125	14,690	0.85
	合計	289	29,045	1.00
その他の区内		170	60,959	
葛飾区内合計		5,251	241,151	2.18
葛飾区外		515		
不明組合員数		1,305		
総合計		7,071		

※世帯数は外国籍を含む

※組合員数は機関誌配布辞退者を含むので手配り数とは異なります。

第51期 総代名簿 (152名)

ブロック名	支部名	総 代				
下千葉	下千葉 25名	飯 田 弘 子	井 上 敏 代	植 田 正 弘	植 田 正 代	
		折 笠 明 実	唐 沢 盛 夫	後 藤 喜 美 子	小 沼 宏	
		坂 井 靖 子	鳶 村 秀 子	清 水 孝	高 橋 洋 子	
		高 柳 敏	滝 澤 美 紀	竹 馬 和 彦	辻 本 泰 子	
		戸 澤 光 子	中 村 春 子	早 川 榮 太 郎	藤 田 雅 博	
		町 田 千 重 子	山 田 昌 和	四 ッ 井 光 子	脇 坂 久 子	
		和 田 豊				
	下千葉東 14名	秋 山 知 子	有 馬 久 江	伊 藤 勝	今 井 賢 吾	
		今 井 節 子	小 堀 尚	斎 藤 裕 子	斎 藤 良 雄	
		椎 名 紀 夫	野 島 富 美 子	廣 田 光 代	村 上 悦 子	
		村 上 紘	山 口 以 智 子			
	篠 原 16名	伊 藤 郁 子	井 上 喜 代	小 川 研 二	川 嶋 公 仁 子	
		小 島 昌 司	佐 藤 修 子	佐 藤 雅 英	関 根 敏 子	
		高 森 正 夫	永 浦 英 子	中 村 伸 吾	中 村 晴 枝	
村 山 潤 子		山 田 幸 子	大 和 行 男	山 本 ハルミ		
金 町	水 元 20名	井 口 カオル	市 原 睦 夫	市 村 恵 子	市 村 義 郎	
		遠 藤 善 久	小 野 塚 一 行	川 上 雅 弘	川 畑 幸 恵	
		鈴 木 啓 文	鈴 木 町 子	鈴 木 美 重 子	武 井 良 子	
		千 葉 美 恵 子	深 井 泰 義	古 谷 一 枝	細 沼 昌 代	
		水 谷 章 三	水 谷 廣 子	山 本 金 義	山 本 康 子	
	金町東 14名	安 藤 眞 智 子	石 田 芳 江	岩 田 梢 子	面 迫 シゲ子	
		小 室 光 啓	篠 田 定 男	篠 田 サトエ	柴 山 秀 一	
		澁 澤 登 美 江	関 谷 一 朗	高 橋 ゆき子	中 江 秀 夫	
		西 村 政 行	森 耕 司			
	金町南 23名	浅 野 篤 子	浅 野 正 治	大 野 豊 春	川 野 栄 子	
		菅 野 玲	菅 野 カツ子	慶 野 三 重 子	小 林 峰 雄	
		小 松 香 代 子	小 松 伸 哉	坂 井 博 子	志 賀 正	
		島 根 和 子	鈴 木 由 美 子	高 野 由 美 子	高 橋 昌 平	
		寺 田 幸 子	土 井 蓉 子	藤 山 忠 亮	三 小 田 准 一	
		三 小 田 美 津 江	宮 久 保 昭 次 郎	矢 嶋 春 海		
	白 鳥 30名	白 鳥 15名	石 垣 ミチエ	小 熊 高 夫	工 藤 し の ぶ	坂 口 栄 子
			鈴 木 恵 子	染 谷 寛	高 橋 よ し 子	成 田 雪 夫
新 沼 寧 江			萩 谷 登 美 子	檜 山 光 子	堀 部 き よ 子	
村 松 勉			山 崎 エツ子	吉 野 五 郎		
亀 青 15名		小 佐 野 節 子	片 岡 千 歳	木 村 秀 子	寒 河 江 裕 子	
		滋 田 央 子	白 石 安 英	鈴 木 茂	鈴 木 澄 子	
		針 谷 か ず 子	藤 枝 逸 子	間 根 山 和 子	森 田 洋 子	
	由 澤 一 枝	吉 野 和 子	渡 辺 キヨ子			
職 員 10名	石 井 美 都 里	磯 田 ま ゆ み	栗 原 麻 美	白 石 晃 一		
	中 島 美 香	西 村 か ほ る	逸 見 昌 則	持 田 智 子		
	山 中 幹 子	吉 田 美 智 江				